

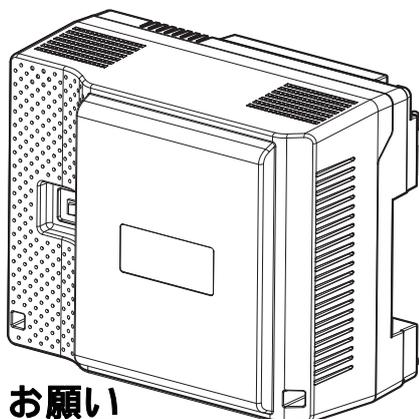
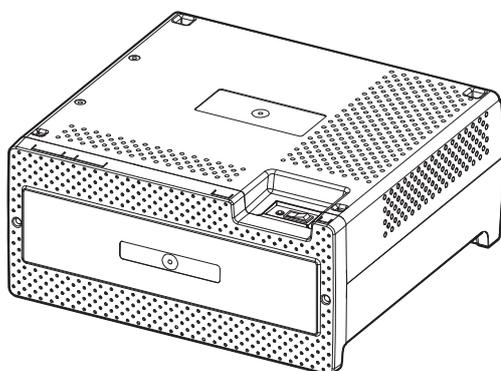
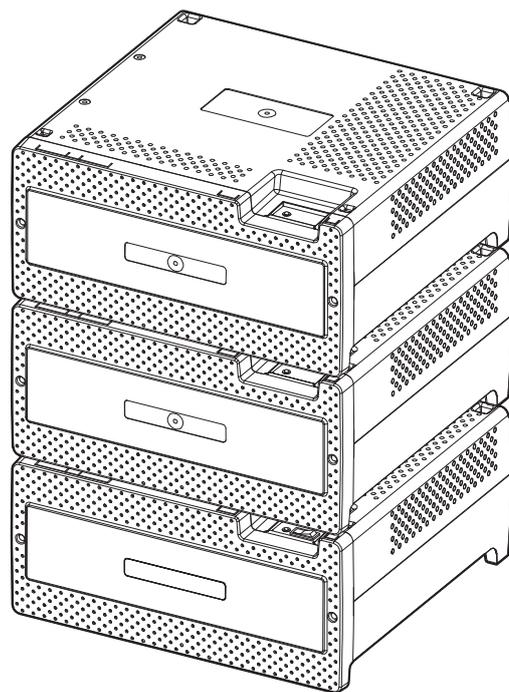


# 工事・保守マニュアル

## 1. 統括編

ビジネスコミュニケーションシステム

# PLATIA



### お願い

このマニュアルは、主装置に同梱してありません。  
設置工事の際は、このマニュアルをお読みください。

# 目次

<b>1</b>	<b>工事・保守マニュアル共通説明事項</b> .....	<b>1-1</b>
1-1	安全上のご注意.....	1-2
1-2	工事・保守マニュアルの構成と各マニュアルの位置づけ.....	1-8
1-3	マニュアル共通表記基準.....	1-9
1-4	略号、用語解説.....	1-15
<b>2</b>	<b>システム概要</b> .....	<b>2-1</b>
2-1	機器名、外線・内線収容数(最大容量).....	2-1
2-2	本システムの特長.....	2-1

## 1 工事・保守マニュアル共通説明事項

---

サクサ PLATIA システムを、ご愛顧いただきありがとうございます。

本工事・保守マニュアルはシステム仕様、設置工事、運用後の保守に関して記載したものです。

対象読者は設置工事業者様を想定したものです。

工事・保守マニュアルの体系を 1-2 章に示しますので、必要なマニュアルを活用していただきたいと思えます。

本統括編では、工事・保守マニュアル全般にわたり、共通に適用される事項の説明をします。

## 1-1. 安全上のご注意

設置工事される方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく工事していただくための、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。なお、本表示は、工事・保守マニュアル内で共通で使用されるものです。また、注意事項は本システムを設置工事、保守運用する際の共通な注意事項になります。

電話機などをお使いになる前に、商品の取扱説明書も良くお読みになり、記載事項をお守りください。

### ■表示の説明

表示	表示の意味
 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

- \* 1: 重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \* 2: 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- \* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

### ■表示の説明

表示	表示の意味
	本表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。 この記号のついた警告・注意分が指定する行為は絶対に行わないでください。 具体的な禁止内容は、図記号の近くに絵や文章で示します。
	本表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 この記号のついた警告・注意分が指定する行為は必ず実施してください。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

### ■免責事項について

- ・地震および社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「工事・保守マニュアル」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

### ■著作権、商標および登録商標について

- ・本マニュアルの一部、あるいは全部について、サクサ株式会社から文書による許諾を得ずに無断で転載することを禁じます(電子、機械、写真、磁気等を含むいかなる手段による複製も禁じます)。
- ・本マニュアルに記載された内容は将来予告なしに一部または全体を修正および変更することがあります。
- ・Microsoft、Outlook、Internet ExplorerおよびWindowsはMicrosoft Corporation の登録商標です。
- ・その他、本マニュアルに記載されている会社名、ロゴ、製品名は、各社の登録商標、商標またはサービスマークです。

■本システムを取り扱う方への安全上の注意事項

ここでの注意事項は、本システムを取り扱う上での、共通の注意事項を示します。

個別の注意事項に関しては、必要に応じて各工事・保守マニュアル上に記載することになります。

<共通注意事項>

 <b>危険</b>	
	バッテリー、電池パックの用途以外の使用、改造等の特殊な使用をしないでください。 電池パックの液もれ、発熱、破壊の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差し、オプションパッケージの取り付けおよび取り外し、配線工事はしないでください。感電する危険があります。
	バッテリー、電池パックは絶対にショートさせないでください。また、直接ハンダ付けをしたり、外装チューブをはがす、強い衝撃をあたえないようにしてください。爆発・発火の危険があります。
	バッテリーの極性・配列を間違わないように設置してください。爆発・発火の危険があります。

 <b>警告</b>	
	指定された電圧以外の電源を使用しないでください。感電・発火・故障の危険があります。
	プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。
	水など液体のかかる場所に設置しないでください。
	ACアダプタを他の用途に利用しないでください。
	電源延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、発火する恐れがあり、火災、感電、故障の原因となります。
	本装置の開口部から内部にドライバ等の金属類を差し込まないでください。また、ネジ等の金属片を落とさないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	コードレス電話機(子機)は、指定の充電器、充電台で充電してください。指定外の充電器、充電台で充電すると電池パックの液もれ、発熱、破壊の原因となります。
	主装置・電話機・付属部品などを分解・改造・修理しないでください。 火災、感電、けがの原因となります。コードレス電話機の改造は法令違反となります。
	主装置や接続装置を医療施設内の手術室、集中治療室などの近くに設置しないでください。また、医用電気機器の近くに設置しないでください。医用電気機器の誤動作の原因になるおそれがあります。
	バッテリーを分解・改造・修理しないでください。また火の気近づけたり、加熱しないようにしてください。 液漏れ・発熱、破裂、火災、けがの原因となります。もし内部の液が皮膚や衣類などに付着したときは、すぐに水で洗い流してください。
	充電器、充電台、ACアダプタは、それぞれ専用のものを使用してください。また、充電器、充電台、ACアダプタを他の用途に利用しないでください。
	電源プラグを電源コンセントに差し込む場合は、確実に根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと感電や発熱の原因となります。
	パッケージ・部品・接続機器は当社指定品を使用してください。
	本装置は設置および保守をする際に工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法であり、また事故のもととなりますので絶対に行わないでください。
	保安器(電源用アレスタ)を設置してください。設置しないと、落雷のときに感電の原因となります。 配線が屋外におよぶ場合は、両端に保安器を設置してください。
	別棟への配線は、地下配線にしてください。地下配線にしないと、落雷のときに感電の原因となります。
	電源プラグは定期的に清掃してください。 電源コンセントと電源プラグの間にほこり等がたまると火災の原因となります。
	ぬれた手で電源端子に対する作業はしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢等、水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。

 <b>警告</b>	
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、本装置を落としたり、破損した場合は、すぐに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	煙が出ている、異臭がする等の場合は、まず電源コードを電源コンセントから抜き、すぐにサポート窓口 に修理を依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	風呂場や加湿器等のそばには絶対設置しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	雷のときは、電源コード、アダプターコード、アース線に触れないでください。設置工事の場合は作業を中止し、雷が鳴り止んでから工事を再開してください。
	電源コードは、電源端子盤指定場所に接続してください。電源コードに金属等が触れると火災、感電、故障の原因となります。
	本装置はアース(A種、D種)接続を前提とした機器です。アースは必ず接続してください。 アースを接続しないと誤動作するだけでなく、感電、雷サージによる発煙、発火の危険があります。

 <b>注意</b>	
	油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
	直接日光の当たる場所への設置はしないでください。
	振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。
	配線ケーブルをステップルで止めるときに、ケーブルを傷つけないように注意してください。
	電源プラグは必ずプラグ本体を持って抜いてください。
	本装置の通風孔をふさがないように、周囲のスペースを充分確保してください。
	壁掛として設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、本装置の破損ばかりでなく、けがの原因となります。
	本装置筐体内に可燃物(マニュアル、紙など)を収容しないでください。
	硫化水素等の腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
	本装置を清掃する際は、水を含んだ布を固く絞って拭いた後、柔らかい布で乾拭きしてください。揮発性のシンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナーなどの使用は絶対避けてください。
	ケーブルの接続の際は、極性および接続先等を確認の上接続してください。指定外の接続を行うと故障することがあります。
	アース線は、ガス管や水道管に接続しないでください。火災、感電の原因になることがあります。
	使用済み製品を廃棄する場合は、廃棄物処理法に基づいた処理が必要です。廃棄、リサイクル処理についての問い合わせはサポート窓口までご連絡ください。

### <端末取扱上の注意事項>

 <b>警告</b>	
	分解・改造・修理をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。電話機の改造は法令違反となります。故障のときは販売店に修理をご依頼ください。
	傾いた台の上、振動や衝撃の多いところに置かないでください。落下・転倒し、けがの原因となります。落下・転倒により破損したとき、ACアダプタを使用している場合は電源コンセントから抜いてください。給電HUBを使用している場合は電話機のLANケーブルと給電HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・その他の故障の原因となります。 注意:HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。
	雷が激しいときはACアダプタ、LANケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
	電話機の開口部から金属類を入れないでください。万一、金属類が内部に入ったとき、ACアダプタを使用している場合は電源コンセントから抜いて、給電HUBを使用している場合は当該の電話機からのLANケーブルと給電HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・その他の故障の原因となります。 注意:HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。
	そばに液体(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等)の入った容器を置かないでください。液体がこぼれて内部に入ると火災・感電・故障の原因となります。また、万一、液体が内部に入ったとき、まず、ACアダプタを使用している場合は電源コンセントから抜いて、給電HUBを使用している場合は当該の電話機からのLANケーブルと給電HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・その他の故障の原因となります。 注意:HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。


**警告**

 <b>警告</b>
<p> 万一、煙が出ている・異常音がする・変な臭いがする・熱くなっているなどの異常状態が発生したときはそのまま使用しないでください。すぐにACアダプタを使用している場合は電源コンセントから抜いて、給電HUBを使用している場合は当該の電話機からのLANケーブルと給電HUBのLANケーブルも必ず抜いて、煙が出なくなるのを確認して修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。</p> <p>注意:HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。</p>
<p> 一般ゴミとして放置しないでください。火災・けがの原因となります。廃棄するときは販売店にご相談ください。</p>
<p> ACアダプタをAC100V以外の電源で絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
<p> ACアダプタコードやLANケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないでください。ACアダプタコード、LANケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。ACアダプタコード、LANケーブルが傷んだら、販売店に交換をご依頼ください。</p>
<p> ぬれた手でACアダプタ、LANケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。</p>
<p> テーブルタップ、分岐電源コンセントや分岐ソケットを使用したタコ足配線は行わないでください。火災・加熱の原因となります。</p>
<p> LANケーブルのモジュラプラグにほこりが付着していないことを確認してからローゼットに差し込んでください。また、半年から1年に1回はLANケーブルをローゼットから抜いて点検・清掃をしてください。ほこりにより火災の原因となります。</p>
<p> ACアダプタは必ず専用の物を使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p>
<p> ACアダプタコードやLANケーブルが傷んだ状態(芯線の露出、断線等)のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。傷んだ状態を発見した場合、すぐにACアダプタを使用している場合は電源コンセントから抜いて、給電HUBを使用している場合は当該の電話機からのLANケーブルと給電HUBのLANケーブルも必ず抜いて、販売店に交換をご依頼ください。</p>
<p> ACアダプタの電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからモジュラジャックに差し込んでください。</p> <p>また、電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。ほこりにより火災・感電の原因となります。</p>
<p> ACアダプタのプラグは電源コンセントに確実に差し込んでください。ACアダプタのプラグの刃は金属などが触れると火災・感電の原因となります。</p>

 <b>注意</b>	
	直射日光の当たるところや暖房設備・ポイラー・熱器具などの近くに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となります。
	調理台のそばなど、油煙や湯気が当たるような場合、ほこりが多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	電話機の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となります。
	本製品やACアダプタコードを熱器具に近づけないでください。本製品やACアダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電となります。
	ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本製品の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
	落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
	電気製品・AV機器(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気コタツ、インバータエアコン、電磁調理器等)など磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に置かないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話が出来なくなることがあります。 (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)</li> <li>・放送局、無線局などが近く、雑音が大きいときは本製品の設置場所を移動してください。</li> </ul>
	ACアダプタを電源コンセントから抜くときは必ずACアダプタの本体を持って、抜いてください。ACアダプタコードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。

## 1-2. 工事・保守マニュアルの構成と各マニュアルの位置づけ

ここでは、工事・保守マニュアルの種類と各マニュアル用途(位置づけ)を説明します。  
この説明を読んで、必要な工事・保守マニュアルを選択してください。

### ■工事・保守マニュアルの体系

正式名称は「工事・保守マニュアル(xxxx編)」ですが、このマニュアル名は xxxx 編のみ記載します。  
(工事・保守マニュアルの名称を省略して記載します)

表 1-2-1 マニュアル体系

分冊 番号	マニュアル名	用途
1	統括編	工事・保守マニュアルの共通事項、体系、システム概要
2	機器仕様編	本システムの仕様、構成品一覧、見積もり条件
3	設置工事編	本システムの設置工事手順、方法、設定を記載
4	サービス機能仕様編	本システムで実現するサービス詳細仕様と、設定方法
5	保守編	本システムで提供する保守ツールの使い方とデータ説明
6	運用編	障害修復手順とログの使い方、トラブルシューティング
11	IP キャリア:IPHO 編	IPHO を設置するための工事手順
12	IP キャリア:IPKD 編	IPKD を設置するための工事手順
21	ナースコールモード1編	ナース連動機能を設置するための工事手順
22	ナースコールモード2編	ナースモード2連動機能を設置するための工事手順
23	ホテル編	ホテル装置の機能説明と工事手順、操作方法
31	端末編	PHS と SIP 端末を設置するための手順

工事・保守マニュアルの中で、各種のマニュアルを参照しています。参照しているマニュアル名とマニュアルの発行元を以下に記載します。

表 1-2-2 参照マニュアル名一覧

参照マニュアル名	適用装置	発行元
デジタルコードレス電話機UM7700保守マニュアル_V02.00版	デジタルコードレス電話機 (UM)	OKI
テクニカルリファレンスMKT/IP3電話機編	IP 多機能電話機(MKT/IP)	OKI
工事マニュアル DR1000(S)/DR1010(S) DR10x0(S) 設定マニュアル DR-Viewer 取扱説明書	IP ドアホン IP カメラドアホン	サクサ
取扱説明書(プログラム編) SIP 電話機	標準 SIP 電話機(UT123) 標準 SIP 電話機(UT670)	Pana
テクニカルリファレンスSIP 電話機編(スーパーホンIP-V2)	標準 SIP 電話機(スーパーホン IP-V2)	OKI
ホテル機能アダプター設置説明書 ホテル機能アダプター取扱説明書	ホテル機能アダプター	OKI(ゼブ)
Com@WILLインストール手順	Com@WILL ソフトホン	OKI
NP320工事マニュアル	標準 SIP 電話機(NP)	サクサ
WNP110(SA)取扱説明書(設定編)	無線標準 SIP 電話機(WNP)	サクサ
CTstageLite管理者ガイド	CTstageLite	OKI

※OKI: 沖電気工業株式会社 Pana: パナソニックシステムネットワークス株式会社 サクサ: サクサ株式会社

## 1-3. マニュアル共通表記基準

ここでは、工事・保守マニュアル共通に適用される、表記基準と工事・保守マニュアルを読む上での注意事項を示します。

表 1-3-1 表記基準

表記項目	表記基準	具体例						
本文の体裁	フォントは MS Pゴシック 10.5 ポイントにします。							
表、図の体裁	フォントは MS Pゴシック 9 ポイントにします。 表や図の説明文や注記も 9 ポイントにします。							
用語	“用語”でくり、黒太文字で表現します。	“テナント”とは.....です。						
表題	黒太文字で表現。1. 1-1. で表現します。	1. 基本原則						
設定項目	アンダーラインをし、青太文字で表現します。 ハードの DIPSW など同じ表現を適用します。	<u>内線番号(D100)</u>						
設定内容	「設定内容」でくり、赤太文字で表現します。 ハードの DIPSW などの設定も同じ表現を適用します。	<b>「2桁」</b> に設定する						
数、容量	赤文字で強調します。	内線の数は <b>最大512</b> です。						
操作の強調	黒太文字で必要に応じて表現します。							
参照	青のイタリックで表現します。	<i>「工事・保守マニュアル」</i> 参照。(体言止め)						
表の表現	表題を灰色(75%)で塗りつぶし、項目を白太文字で表現します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C			
A	B	C						
ボタン表記	□で囲って、機能名を表記する	保留ボタン(固定ボタンの場合)  リダイヤルボタン(可変ボタンの場合)						
ダイヤル表記	[ ]で囲んで表記する	[1234]をダイヤルする。 ただし、特番などの変動要素のあるものは[(特番)]のように変動要素分を( )で表現します。						
AND 表記	・で表現する。(A・B は A と B)							
OR 表記	/で表現する。(A/B は A または B)							
カテゴリ分け	<>でくり、カテゴリを黒太文字で表現する	<IP アドレス仕様について>						

表 1-3-2 工事・保守マニュアル記載上の注意事項

記載内容	注意事項
WSa	アナログのコードレス電話機(WS250)のことを意味します。発売は終了していますが、リプレースユーザのために、サービス機能仕様編や機器仕様編に出てきます。 関係の無いお客様の工事にあたっては、無視してください。

工事・保守マニュアルの機器の記載については、マニュアル上の総称で記載しています。  
最初に総称と総称略称を定義します。(総称略称は紙面の都合で入らないような場合に使用します)  
なお、総称と実際の手配品名の対応は、「[工事・保守マニュアル\(機器仕様編\)機器構成一覧](#)」を参照してください。

表 1-3-3 総称一覧

総称	総称略称	説明	備考
Lタイプ主装置(基本架) Lタイプ主装置(増設架)	Lタイプ主装置 Lタイプ	タイプを意識しない場合は「主装置」と記載します。	
Mタイプ主装置	Mタイプ主装置 Mタイプ	タイプを意識しない場合は「主装置」と記載します。	
Sタイプ主装置	Sタイプ主装置 Sタイプ	タイプを意識しない場合は「主装置」と記載します。	
多機能電話機(標準 18 ボタン) 多機能電話機(標準 30 ボタン)	多機能電話機(標準) 標準	18 ボタン、30 ボタンの人感センサ付き多機能電話機を示します。	
Bluetooth コードレス電話機(WSb)	WSb WSb電話機	単独のコードレス電話機を示します。	
カールコードレス電話機(CL)	CL CL 電話機	親機、子機タイプのコードレス電話機を示します。	
デジタルコードレス電話機(DC)	DC DC 端末	デジタルコードレスタイプの単独コードレス電話機を示します。	
SIP 端末(NP)	NP	24 ボタン対応の標準 SIP 電話機を示します。 SIP 端末全体を示す場合は「SIP 端末」と表現します。	
SIP 端末(WNP)	WNP	WSb タイプで接続装置とのインターフェースが SIP の電話機を示します。	
SIP 端末(スーパーホン IP-V2)	スーパーホン IP-V2	10 ボタン対応の標準 SIP 電話機を示します。	
IP 多機能電話機	MKT/IP	ローカルプロトコルで制御される、IP インターフェースの多機能電話機です。	
デジタルコードレス電話機(UM)	UM 端末 PHS 端末(端末を意識しない場合)	システムコードレス機能対応のデジタルコードレス電話機を示します。	
デジタルコードレス(UM)基地局	PHS 基地局 (CS)	PHS 端末を収容する基地局を示します。 (CS 表現は設定データ内で表現されません。)	
アナログ電話機	—	アナログ公衆網に接続できるアナログ電話機を示します。	
状態表示盤(MBD/基本ユニット) 状態表示盤(MBD/増設ユニット)	状態表示盤(MBD) MBD	8 個のランプ表示をする、状態表示盤を示します。	
集中受付装置(DSS)	DSS	72 ボタンを増設するための、受付装置を示します。	
SIP 端末(UT670)	UT670	アンドロイド対応の SIP 端末を示します。	
SIP 端末(UT123)	UT123	電話機タイプの SIP 端末を示します。	
音声会議ホン	—	LAN に接続して、会議電話ができる音声会議端末を示します。	
Com@WILL	—	PC 上で動作する SIP 端末を示します。	

総称	総称略称	説明	備考
音声ドアホン	—	アナログタイプのドアホンを示します。ドアホン全体を示す場合は「ドアホン」と称します。	
カラーテレビドアホン	—	アナログタイプのテレビドアホンを示します。	
IP ドアホン	—	SIP インタフェースで接続されるドアホンのことを示します。SIP インタフェースのドアホンを総称する場合は「IP ドアホン」といいます。	
IP カメラドアホン	—	SIP インタフェースで接続される、カメラ付きの IP ドアホンを示します。	
アナログ局線パッケージ(2CO)	CO パッケージ 2CO	アナログ回線を2回線収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
アナログ局線パッケージ(4CO)	CO パッケージ 4CO	アナログ回線を4回線収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
アナログ局線パッケージ(8CO)	CO パッケージ 8CO	アナログ回線を8回線収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
デジタル局線パッケージ(1BRI)	BRI パッケージ 1BRI	ISDN 基本インタフェースを1回線収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
デジタル局線パッケージ(2BRI)	BRI パッケージ 2BRI	ISDN 基本インタフェースを2回線収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
デジタル局線パッケージ(4BRI)	BRI パッケージ 4BRI	ISDN 基本インタフェースを4回線収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
内線増設パッケージ(8ST)	ST パッケージ 8ST	多機能電話機(標準)、コールコードレス電話機(CL)、Bluetooth コードレス電話機(WSB)、デジタルコードレス電話機(DC)を8台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
内線増設パッケージ(16ST)	ST パッケージ 16ST	多機能電話機(標準)、コールコードレス電話機(CL)、Bluetooth コードレス電話機(WSB)、デジタルコードレス電話機(DC)を16台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
アナログ電話増設パッケージ(8SLI)	SLI パッケージ 8SLI	アナログ電話機を8台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
アナログ電話増設パッケージ(16SLI)	SLI パッケージ 16SLI	アナログ電話機を16台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
ドア・ページングパッケージ(DRPG)	DRPG パッケージ DRPG	ドアホン、外部スピーカ、外部音源、リレーなどを収容するパッケージを示します。	オプション パッケージ
デジタルコードレス(UM)基地局パッケージ(2CDLC)	CDLC パッケージ 2CDLC	デジタルコードレス(UM)基地局を2台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
デジタルコードレス(UM)基地局パッケージ(4CDLC)	CDLC パッケージ 4CDLC	デジタルコードレス(UM)基地局を4台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
ひかり電話オフィス A 対応 VoIP パッケージ(IPHO)	IPHO パッケージ IPHO	ひかり電話オフィス回線を1回線収容するためのパッケージを示します。 IP 系パッケージを総称して「IP パッケージ」と呼びます。	オプション パッケージ

総称	総称略称	説明	備考
KDDI 光ダイレクト対応 VoIP パッケージ(IPKD)	IPKD パッケージ IPKD	KDDI 光ダイレクト回線を1回線収容するためのパッケージを示します。 IP系パッケージを総称して「IPパッケージ」と呼びます。	オプション パッケージ
INS ネット 1500 局線パッケージ (PRIT)	PRIT パッケージ PRIT	ISDN一次群インタフェースを1回線収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
OD 専用線パッケージ(4ODT)	ODT パッケージ ODT	アナログ専用線(ODインタフェース)を4回線収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
SIP 専用線パッケージ(SIPT)	SIPT パッケージ SIPT	SIP専用線を1回線収容するためのパッケージを示します。 IP系パッケージを総称して「IPパッケージ」と呼びます。	オプション パッケージ
VoIP 通話チャンネル増設パッケージ (BRGI)	BRGI パッケージ BRGI	PCM-VoIPの変換回路を16回路増設するためのパッケージを示します。 IP系パッケージを総称して「IPパッケージ」と呼びます。	オプション パッケージ
IP 端末接続用パッケージ(IPST)	IPST パッケージ IPST	SIP 端末、IP 多機能電話機を128台収容するためのパッケージを示します。 IP系パッケージを総称して「IPパッケージ」と呼びます。	オプション パッケージ
ボイスメール装置 I/F パッケージ (IPVMLC)	IPVMLC パッケージ IPVMLC	外付けボイスメール装置を接続するためのパッケージを示します。 IP系パッケージを総称して「IPパッケージ」と呼びます。	オプション パッケージ
ナースコール専用 I/F パッケージ (2NCI)	NCI パッケージ 2NCI	ナースコール装置を収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
F 端末内線増設パッケージ(8FLC)	FLC パッケージ 8FLC	集中受付装置(DSS)、状態表示盤(MBD)を8台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
F 端末内線増設パッケージ (16FLC)	FLC パッケージ 16FLC	集中受付装置(DSS)、状態表示盤(MBD)を16台収容するためのパッケージを示します。	オプション パッケージ
CCU(L)-MAIN パッケージ	CCU	Lタイプ主装置を制御するパッケージを示します。	
CCU(L)-SUB パッケージ	SUB	Lタイプ主装置(増設架)を制御するパッケージを示します。	
CCU(M/S)パッケージ	CCU	Mタイプ主装置、Sタイプ主装置を制御するパッケージを示します。	
内線拡張パッケージ	—	Sタイプ主装置で8内線(ST)を増設できるパッケージを示します。	
停電ユニット A	—	多機能電話機(標準)に搭載することで、アナログ回線の停電電話機として使用することが出来るユニットを示します。	
停電ユニット I	—	多機能電話機(標準)に搭載することで、ISDN基本インタフェースの停電電話機として使用することが出来るユニットを示します。	

総称	総称略称	説明	備考
主装置電源 S 用	POW(S)	S タイプ主装置に搭載される電源ユニットを示します。	
主装置電源 LA 用	POW(LA)	M タイプ主装置および L タイプ主装置(基本架)に搭載される電源ユニットを示します。	
主装置電源 LB 用	POW(LB)	L タイプ主装置(増設架)に搭載される電源ユニットを示します。	
コールスピーカ	—	外部スピーカおよび高音量ベルとして使用できる外部スピーカユニットを示します。一般的な外部スピーカとして「外部スピーカ」を使用します。	
内蔵バッテリー(S)	—	S タイプ主装置に搭載される停電用バッテリーを示します。総称して「停電用バッテリー」という言い方もします。	
内蔵バッテリー(M/L)	—	M タイプ主装置および L タイプ主装置の停電用バッテリーを示します。総称して「停電用バッテリー」という言い方もします。	
外付けバッテリー(S)	—	S タイプ主装置に搭載される大容量の停電用バッテリーを示します。総称して「停電用バッテリー」「外付けバッテリー」という言い方をします。	
外付けバッテリー標準(M/L)	—	M タイプ主装置および L タイプ主装置に搭載される外付けのバッテリーを示します。	
外付けバッテリー長寿命(M/L)	—	M タイプ主装置および L タイプ主装置に搭載される外付けのバッテリーを示します。	
外付けバッテリー長寿命大容量(M/L)	—	M タイプ主装置および L タイプ主装置に搭載される外付けのバッテリーを示します。	
ヘッドセット (機種を区別しない言い方)	—	電話機に接続して、ハンドセットの代わりに使用できるヘッドセットを示します。	
通話情報管理アダプタ(L)	通話情報管理アダプタ	大容量の通話管理情報を管理するアダプタを示します。	
通話情報管理アダプタ(S/M)	通話情報管理アダプタ	中小容量の通話管理情報を管理するアダプタを示します。	
ホテル機能アダプタ・ホストタイプ	ホテル機能アダプタ	ホストと連動してホテル機能を実現するアダプタを示します。	
ホテル機能アダプタ・スタンダードタイプ	ホテル機能アダプタ	標準的なホテル機能を実現するアダプタを示します。	
ホテル機能アダプタ・アドバンスタイプ	ホテル機能アダプタ	拡張機能を搭載したホテル機能アダプタを示します。	
無線 AP	—	WiFi アクセスポイントを示します。	
スマートフォン	—	WiFi を使用して SIP 端末を実現する会うスマートフォンを示します。	
Com@WILL(スマートフォン用)	SIP 端末	スマートフォンに搭載されるソフトホンアプリケーションを示します。	
ブロードバンドルータ	—	外付けのルータを示します。	
デジタルコードレス電話機(TC)	TC PHS 端末	システムコードレス機能対応のデジタルコードレス電話機を示します。	

総称	総称略称	説明	備考
デジタルコードレス電話機(防水)	PHS 端末	システムコードレス機能対応のデジタルコードレス電話機を示します。防水機能つき	
USB メモリ(設定保存用)	USB メモリ	システムの設定データやログ、障害情報を保存するための USB メモリを示します。	
USB メモリ(録音用)	USB メモリ	内蔵ボイスメール機能の録音媒体として使用する USB メモリを示します。	
無停電電源	—	バッテリーの代わりに停電用電源として使用する電源を示します。	
ネットワークカメラ	—	セーフティ機能で使用するネットワークカメラを示します。	
POE HUB	—	給電機能をもった LAN スイッチの事	
課金プリンタ	—	ホテル機能で使用する、フロント清算要などに使用するプリンタを示します。	
遠隔保守キット・アナログ回線版 遠隔保守キット・INS 版	遠隔保守キット	アナログ回線や INS 回線から主装置の保守ができるアダプタを示します。	
セキュリティ送信機	—	BS700、BS700S、TS-MT0802C の総称を示します。	
電話機コード	—	多機能電話機(標準)などの専用電話機とローゼット間を接続するコードの総称を示します。	
CTstageLite	—	外部ボイスメール装置の総称を示します。	

## 1-4. 略号、用語解説

工事・保守マニュアルで使用される、略号や使用用語を以下に説明します。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
英数	ACR (Automatic Carrier Routing)	ダイヤルされた内容によって、最適なキャリア(通信網を提供している会社)を選択して発信できる機能です。	本システムでは携帯電話に発信する場合に、0033を自動付加して発信する方法を具備しています。
	BC (Bearer capability)	ISDNの伝達能力情報要素の略です。	ISDNの呼び制御で、お互いに受け入れられる能力かどうかを整合するための情報です。
	BCD(Business Call Direct)	KDDIの光ダイレクトサービスの略です。	KDDIの光ダイレクト外線を使用して、閉番号のような使い方ができるサービスです。
	Bch 交渉	ISDNプロトコル機能の一つで、網から指定された通話チャンネルが使用できない場合に、別の通話チャンネルを指定する手順のことです。	本システムでは、チャンネル指定する設定もできますが、発信時は任意チャンネル指定を推奨しています。理由は網にチャンネルを指定させることで、発着の衝突の防止にもなるためです。
	BRGI、ブリッジ回路	VoIP音声からデジタル音声に、または逆に変換する回路のことです。	
	BRI(Basic Rate Interface)	ISDNの基本インタフェースのことです。	64kbpsのBチャンネルを2本と、16kbpsのDチャンネルを1本利用できます。
	BRI 外線	ISDN基本インタフェースの外線のことです。	
	CDT(continuance Dial Tone)	連続発信音のこと。公衆網に発信する際に受話器から聞こえる発信音です。	NTTアナログ網で受話器をあげたときに聞こえてくる「ツーーーー」という400Hzの連続音のことをいいます
	CNG 信号	自分がFAX(非音声端末)であることを通知する信号です。	「ポー、ポー、ポー」という断続音であり、人間がこの音を聞いたときは、手動でFAXに切り換えて受信することができます。FAX電話機などは、この音を感知して自動でFAXに切り換えて受信することが可能です。
	Com@WILL	本システムのSIP端末として動作するソフトホンの名称です。	電話機能以外に、留守録音や4者会議、アプリケーション共有、ビデオ会議機能などが利用できます。
	CPT(ComPlete Tone)	登録完了音のことです。	
	CPTD(Call Progress Tone Detector)	BT検出リソースの意味です。	
	CTstage アシスタント	CTstage保守設定ツールのことです。	
	DGL、DGLグループ (Direct Group Line)	着信の一つの形式で、内線を例えば組織ごとにグループ化し、発信者はそのグループを指定して発信することで、グループ内の内線すべてを呼び出せます。着信は一つのDGLボタンに先着順でキューイングされ、着信順応答できます。	拡張内線番号にDGL呼出特番とDGLグループ番号を設定しておくことで、拡張内線番号のダイヤルでDGLグループを呼び出せません。内線のグループ呼出を内線番号で呼び出せます。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	DGL 着信呼数制限、MSA 着信呼数制限	同じDGL や MSA グループに着信できる数を制限できる機能です。	例えば、休日は出勤している人数が少ないため、着信できる数を制限するという運用で使用します。
	ERT (ERror Tone)	エラー音のことです。	各種の登録操作において、登録ができなかったときに鳴動する音のこと。「ピーピー」と2回高い音が鳴動します。
	FMC(Fixed Mobile Convergence)	携帯電話を自拠点にいる場合は内線番号で、他拠点にいる場合は拠点番号+内線番号で呼び出せる機能です。	
	FMC自拠点携帯番号	FMCサービスを利用している携帯電話の内線番号のことです。	
	FMC 自拠点番号	FMC 端末が所属する網の拠点番号です。自拠点番号と自拠点携帯番号で FMC 端末を識別します。	
	F/W	ファームウェアの略号です。	
	GW 迂回	SIP-GW を使用して SIP 専用線網を構築した際、対局の GW 装置が故障や回線塞がりなどで通信できない場合、あらかじめ決めておいた GW 装置に迂回して通信できる機能です。	
	H&D 機能中	ハイアンドドライ(給電を停止した)状態のことです。	受話器上げの警告音(ハウラ音)送出のあと、一定時間経過しても受話器を戻さなかった場合、受話器を戻すまで給電を停止します。
	HT (Hold Tone)	保留音のことです。	
	H/W	ハードウェアの略号です。	
	HOW (HOWler)	ハウラ音の略号です。	
	IFG (InterFace Group)	ISDN や VoIP 網で一つの物理回線で通話できるチャンネルの集合をさします。Interface Group の略号です。	例えば、ISDN 外線であれば 2B+D や 23B+D の各々の外線をそれぞれ IFG1 や IFG2 と設定します。設定データは IFG を単位として設定していきます。
	IP 自動交換	VoIP 外線でサブアドレスが設定できないような場合、個別着信ができません。そのような場合、電話帳に着番号と相手の内線番号を登録し、発信すると、相手の応答で登録されている内線番号を自動的に PB 送信します。着側では発番号を電話帳で検索し着信形式が自動交換になっていたら、応答して PB 受信を行うことで、内線を指定して着信できる機能です。 付加番号 DID を自動的にシステムが操作するイメージの機能です。	内線を直接呼び出すような機能がない VoIP 網で、内線を直接呼び出したいケースで利用できます。
	ISUB	SIP プロトコルの INVITE メッセージにコーディングされるサブアドレスのことです。	isub のコーディングイメージ(着サブアドレス)

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	LEN(Logical Equipment Number)	論理端末番号の事です。SIP 内線を内部的に識別する番号です。	
	MF キー(Multi Function)	上下左右ボタンの総称です。	
	MSA、MSA グループ(Multi Station Access)	DGL がグループ着信時、一つの DGL ボタンに着信がキューイングされると違って、MSA グループの着信ひとつひとつを電話機のボタン(MSA ボタン)に着信させる機能です。	拡張内線の使い方は DGL と同じです。 <a href="#">DGL</a> を参照してください。
	MSA 呼数	MSA ボタンに着信できる最大数のことです。	
	MSA シーケンス番号	MSA ボタンを識別するための番号です。	MSA は MSA グループに着信した呼を、MSA の一つ一つに着信表示をします。ボタンを割り付ける際に MSA ボタンの何番目かを指定するときに使われます。
	NAND	NAND フラッシュメモリーのことです。	プログラムが収容されている記憶媒体です。
	NC 親機(Nurse Call)	ナースセンターに設置されている、ナース呼出に応答できる装置のことです。	詳細は「 <a href="#">工事・保守マニュアル(ナースコール編)</a> 」を参照してください。
	NC 子機	病室についている、ナース呼出ボタン(装置)のことです。	詳細は「 <a href="#">工事・保守マニュアル(ナースコール編)</a> 」を参照してください。
	NSAP-IA5 キャラクタ	ISUB のコーディング規約です。 ISDN の場合、サブアドレスフィールドに AFI コード=50H を最初につけ、それ以降はキャラクタでコーディングしたサブアドレス情報のこと。 SIP の場合、isub-encoding=nsap-ia5 として宣言し、キャラクタで番号をコーディングします。	isub のコーディングイメージ(着サブアドレス)を参照してください。
	PBX 外線アクセスコード	ビハインド収容されたシステムから、PBX 外線を捕捉して、公衆網へ発信する場合に PBX の外線発信特番を自動的に付加して発信する場合の自動付加番号のことです。	ビハインド収容したボタン電話から、公衆網に発信する場合、最初に0をダイヤルしたあとに、相手番号をダイヤルします。その最初の0を PBX 外線アクセスコードと呼びます。オートダイヤルに外線の番号が登録されていて、PBX 外線から発信しようとした場合、この0を付けないと外線に発信できません。このような場合、システムが自動的に0を付加して発信するために使う番号です。
	PBX 外線アクセスポーズ	ビハインド収容されたシステムから、PBX 外線を捕捉して、公衆網へ発信した場合、PBX に収容された外線を捕捉したあとに、自動的に一定時間のポーズをとってダイヤルを送出する機能です。	オートダイヤルで0を自動付加して発信する際に、PBX が外線を捕捉して、公衆網から発信音がでるまでにある程度の時間が必要になります。このようなとき、ある程度の時間をとってから、オートダイヤルに登録された外線番号を PBX に伝える必要があります。このポーズ時間のことを言います。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	PBX 回線	PBX の内線を本システムの外線に接続して、本システムから PBX の内線機能ができる外線のことをいいます。	PBX に収容された外線を“PBX 外線”、PBX に収容された内線を“PBX 内線”といいます。
	PB 切り替えコード	ワンタッチダイヤル中にダイヤルの途中から PB に切り替えてダイヤルする切り替えコードのことです。	本システムの場合、P が一つ登録されていた場合:相手応答後 PB 信号に切り替えてから、それ以降のダイヤルを送出します。 PP のように二つ登録されていた場合:一定時間のタイミングのあと、PB に切り替えてから、それ以降のダイヤルを送出します。
	PB ダイヤル送出モード	PB 通信送出特番を押して、PB が送出できる状態のことです。	ボタン操作 (PB ボタン押下) でもモード切替ができます。
	PB リモコン	外線から PB 信号を使って、設定の内容やモードを切り替える機能のことです。	転送リモコンと留守番リモコン、セーフティリモコンができます。
	PB レシーバ	プッシュホンの信号を受信して番号を抽出できるハードウェアです。	
	PHS(Personal Handyphone System)	RCR28 標準に準拠したデジタルコードレス電話機のことです。	
	PHS 外線	アナログ外線に VoceWay 装置を接続することで、PHS 間の通話や VoceWay からの PHS への通話に対して、Willcom の定額プランを適用して、電話代を節約できるアダプタを収容した外線です。。	
	PS-ID	PHS 子機に設定されている個体識別番号のことです。無線区間の情報をやり取りする際に子機を識別するために使用する番号です。	
	PSN、外部 PSN	着信時に着信する PHS 子機を指定する番号です。	外部 PSN を PHS 子機に登録しておきます。該当 PHS に着信する場合、CS からはこの外部 PSN で着信を通知します。PHS 子機はこの着信信号 (PCH) を受信して、登録されている外部 PSN と比較し、自分の着信かどうかを判定します。
	PRI (Primary Rate Interface)	ISDN の一時群速度インタフェースのことです。	
	PRI 外線	ISDN の一時群速度インタフェース (INS1500) の外線のことです。	
	RCR STD-28	公衆、自営標準 PHS システムの標準規格のことです。	
	REGISTER	SIP プロトコル上で端末を登録するためのメッセージです。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	RFC2833(Request For Comment)	RTPを使用した、PB 送信方式の規定で、音で PB を送信するのではなく、アウトバンドの情報で PB 信号を送信する規格です。	
	ROT(Re Order Tone)	リオーダートーン(誤操作音)のことを言います。	BT と ROT は以下のように区別して使用されます。 BT: 現在使用できないときに使います。しばらくしてから操作すれば使用できます。(例えば、相手が通話中の場合など) ROT: 後で操作しても使用できないときに使います。(例えば語ダイヤルなど)
	RSS(RDF Site Summary)	ニュース配信サイトなどで最新ニュースを、放送局では番組情報を、その他各種企業においてプレスリリースや新製品情報、サポート情報を、RSS を使ったヘッドライン情報として配信するプロトコルのことです。	本システムでは、この RSS を受信してヘッドラインを電話機の LCD に流す機能に利用します。「 <a href="#">工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Dc03]</a> 」で <a href="#">deRSS</a> 参照
	SA(System Administrator)	システム管理者モードのこと。保守メニューの表示が他内線を含めたシステム管理者レベルであることを意味します。	本システムの内線は一般ユーザとシステム管理者の2種類があります。システム管理者の場合、ユーザで保守すべき設定のすべてが操作できます。一般ユーザの場合、自分の内線に関する設定のみ操作できます。
	SC(Slot & Circuit)	ボタン電話に收容されるパッケージの收容されたスロットとチャンネルのことを意味する略称です。SC は 4 桁で表示され、頭 2 桁がスロット番号、残り 2 桁がチャンネル番号になります。00 からスタートします。	例えば2スロット目に收容された内線パッケージの3回路目を指定する場合は SC=0203 になります。ここに接続される内線の内線番号が 100 である場合、SC0203→内線番号 100 というように設定されます。
	SDT(Special Dial Tone)	特殊発信音のこと。内線発信とは異なる発信音です。	「ツツツツツ」という連続音です。
	SFDC	Sales Force.com が提供するアプリケーション機能です。顧客管理機能やコールセンター機能などが Com@WILL を使って実現できます。	
	SIP-G	SIP 専用線を対局単位でグループ化した単位です。ISDN の IFG と同じような意味で一つの SIP-G に 127ch まで割り当てできます。	SIP 専用線は相手 SIPT の IP アドレスごとに何chというような定義をします。つまり一本の LAN 上で複数の SIPT と通信できるので、物理的な LAN インタフェースでは呼の管理ができません。このような場合相手 SIPT ごとに SIP-G という概念で管理します。また SIP-G 内の通話可能なchを仮想 SC という概念で管理します。
	SIP-GW	SIP インタフェースと既存のインタフェースを相互プロトコル変換するためのゲートウェイ装置です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	SMDR(Station Messaging Detail Record)	通話料金明細出力の略称)ことです。	
	SNTP(Simple Network Time Protocol)	時刻情報を取得するプロトコルです。	インターネット上の SNTP サーバーで時刻を管理し、クライアントがそのサーバーに時刻を要求することで、時刻情報を取得することができます。
	SO(Service Order)	PHS 子機に書き込むデータのことです。	本システムでは SO データを無線で書き込みます。詳細は「 <a href="#">工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編)</a> :[Na11]PHS 登録」参照
	SPRBT	特殊発信音のことです。相手を呼び出す前に無線端末などの場合、接続中音を送信します。その接続中音で使	連続の「ツツツツツ……」という音です。
	SYS-ID	自営標準システムのシステム識別番号です。PHS 子機にこの SYS-ID を登録し、別のシステムの基地局に所属しないようにシステムを識別するための番号です。システムごとにユニークな番号が割り当てられます。この SYS-ID は管理 CS からシステムにアップロードされ、その他の CS にダウンロードすることで、システム内の SYS-ID を同一にします。	近隣でシステムコードレスを運用しているシステムがあり場合、自システムの制御chと近隣システムの制御chの両方が受信できてしまいます。制御chには SYS-ID がついて報知されるので、自システムの基地局をさがすのに、この SYS-ID で自システムかどうか識別します。
	SIP 端末クラスパターン SIP クラスパターン	SIP 端末の端末種別ごと(スーパーホン IP-V2、Com@WILL などの端末種別)の属性(動作規定)を定義したクラスで、SIP 端末や SIP 専用線ごとに指定します。これにより端末ごとの動作仕様を熟知しなくても、端末の動作規定を指定することができます。	設定のイメージ SIP クラスパターン=COM@WILL の場合、COM@WILL には専用の SIP クラスパターンを割り当てられます。 SIP クラスパターンにはセッション監視方法、保留音をどうするなど細かな定義がしており、端末ごとにふるまいが異なるものが端末の種別ごとにあらかじめ設定してあります。従って工事業者は端末種別に従ったクラスパターンを設定するのみで、SIP の細かな設定をしなくてもいい仕組みになっています。
	SIP 専用線	SIP プロトコルに準拠した専用線機能を意味します。	SIP 専用線は独自ヘッダがあるため、本システム相互でしか使用できません。
	SIP 端末	SIP プロトコルに準拠した、VoIP 電話機のことを言います。	
	T.38	IP ネットワーク上でリアルタイムに G3 ファクシミリ通信を実現するための伝送制御プロトコルです。	
	TBB(Tone Back Burst)	内線音声呼出時、発信者に音声呼び開始を通知するバースト音。トーンバックバースト音です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	UA (User Administrator)	一般ユーザモードを意味します。保守メニューの表示が該当内線分のみの設定となります。	
	Unnumbered Link	2台のルータを1対1で接続するときには、1台のルータのWAN側の宛先はもう1台のルータであることが決まっているので、WAN側にIPアドレスを割り当てなくてもパケットを送信することができます。また、ネットワーク間を専用線や電話線で接続する場合にも、パケットの宛先は一意に決まるため unnumbered 接続になります。このような運用のことです。	
	UNREGIST 状態	SIP サーバに登録(REGIST)ができていない状態です。	
	VoIP (Voce over IP)	音声を IP プロトコル上に載せてパケットで通信するプロトコルです。	
	VoIP 外線	IP 電話サービスで通話できる外線のこと。	例えばひかり電話などを示します。
	VRS	ガイダンス送出用の回路の略称です。システムで 12ch 持ちます。	ガイダンス送出以外にも、内蔵ボイスメールの通話チャンネルとしても使用します。
	Web 設定	Web ブラウザを使用して、各種の設定がユーザでできる機能です。WEB ブラウザでの設定はユーザが設定できるもののみになります。工事/保守業者は PC 保守コンソールを使用します。	設定できる機能は「 <a href="#">工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Na02]WEB 設定</a> 」を参照してください。
	W 機能セット	特番またはボタン操作で指定された2つのモードを同時に設定/解除ができる機能です。	具体的なW機能特番については「 <a href="#">工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Na08]機能特番</a> 」を参照してください。
あ行	空き待ち	リソース(例えばガイダンス送出用のVRSチャンネル)が塞がりのときに、着信を継続しつつ、リソースが空くのを待って、リソースが空いたら本来の処理を実行する処理のことです。	
	位置登録	自営標準 PHS システム内に複数の呼び出しエリアがある場合、PHS 子機が異なる呼び出しエリアに移動したときに、システムに呼び出しエリアの移動を通知する機能です。	PHS 子機の着信は位置登録された呼び出しエリアのすべての基地局から無線区間上で着信を報知されるので、呼び出しエリアが変更になった場合、位置登録をしないと、着信が受けられなくなります。
	一般系着信、一般着信	複数の電話機に同時に着信する着信方法の総称です。外線着信(一般系)、DGL/MSA 着信、ドアホン着信などが該当します。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	一般系着信無応答転送	応答遅延転送のことです。一般系着信に誰も応答しない場合に転送先に転送する機能です。	
	いらっしゃいませセンサ	いらっしゃいませセンサモードにすると、人感センサで来客を検知すると、電話機のLCDに「いらっしゃいませ」表示や、外部機器からのガイダンス送出ができる機能です。	利用シーン: 無人の受付で使用します。
	いらっしゃいませセンサグループ	いらっしゃいませセンサ機能を利用するためのグループを2つ作成することができます。電話機、センサ、外部機器をグループ핑していらっしゃいませセンサ機能を実現する運用単位です。	
	インタフェースグループ	ISDN 外線や VoIP 外線で一つの物理回線で通話できるチャンネルの集合を示します。	
	ウイंक信号	OD 専用線の相手局がダイヤル受信状態になったことを発側局に通知する信号です。	
	迂回	発信する外線や専用線の通話チャンネルが全ふさがりなどで使用できないときに別の回線を使って発信する機能です。	
	エラー音	操作や特番の誤りなどで電話機に送出される音です。	
	エラー状態	エラー音を聞いている状態。操作や特番が誤ったときなどに、この状態になります。	
	老番	番号の大きな方を意味します。	おもにアナログ回線の回路の捕捉順で使っています。老番ハントというのは、回路番号(SC)の大きいほうから捕捉するという意味になります。例えば専用線を使用する場合、自局は老番から使い、相手局は若番から使うように運用すれば、発着の衝突が防止できます。
	置き台	コードレス電話機の充電台のことです。置き台上げとは子機を充電台から上げることを意味します。	
	オートダイヤルボタン	多機能電話機の機能ボタンの総称です。ファンクションや電話番号などを割り当てることができます。	
	オートドロップアウト	アナログ回線からの着信時、リングの鳴動継続を監視し、オートドロップアウトタイマーより長い時間リング検出ができない場合、着信の途中放棄とみなすための監視時間です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	オートポーズ	PBX 回線を使用して、PBX の外線や専用線を捕捉する特番をダイヤルした際に、捕捉特番のあとに自動的にポーズをとり、外線を捕捉してすぐにダイヤルしないようにガードする機能です。	
	オートプロビジョン	自動組み込みのことです。IP 多機能電話機(MKT/IP)やスーパーホン IP-V2 の場合、接続するだけで自動的に初期データが適用され使える状態になる機能です。	詳細は「 <a href="#">工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編)</a> :[Lc11]IP 内線自動収容(オートプロビジョン)」参照
	応答遅延代行	無応答時にメール代行させる機能です。	本システム内に言葉の使い方として、代行というのはメールボックスで応答する機能で統一して使用します。
	オフフック状態	電話機のハンドセット(受話器)を電話機から上げた状態です。	
	オンフック状態	電話機のハンドセット(受話器)が電話機に置かれた状態です。	
	折り返し外線	外線自動転送時、着信を転送先に転送する場合に発信で使用する外線のことです。設定データで指定します。	折り返し外線は相手の応答検出が必要なので、リバースのある外線になります。
	折り返し外線発信	CTstage のボイスメールにアクセス時、メールボックスに登録された番号からの着信時(そのメールボックスの所有者)新規メッセージがある場合に一定時間応答しないでおき、着信者が切断したあと、CTstage から着信者に発信し、着信者が応答することで新着メッセージを聴取できる機能です。	着信者に課金されるのを防ぎます。
	折り返し用発信特番	FMC 端末が着信応答した相手に発信する際に必要になる特番です。	FMC 端末に発番号を通知する場合に、その相手にかけるために必要となる特番(折り返し用発信特番)を頭に付加して、発番号を通知することで、端末の着信履歴から発信することができます。
	音声威嚇	セーフティモード中に侵入検知した場合、登録してある通知先に自動的に発信し、通知先から音声で威嚇(電話機から威嚇音声をだして)できる機能です。	
	音声呼び確認音、 トーンバックバースト	音声呼出の発信者に対して、音声呼びを始めていいという旨のバースト音のことです。	
	音声呼び予告音、 トーンバースト	音声呼びの着信者に対して、これから音声呼びになるという旨のバースト音のことです。	
	オンネット	公衆外線を専用線のように企業内ネットワークとして使用できるサービスで、専用線番号で公衆網を使用して発着信できるサービスです。	オンネット契約している外線から通常の外線番号で発信することができます。これをオフネット発信といいます。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	オンフックFAX転送	CNG 検出外線の着信に应答し、すぐにオンフックすることで、内線の所属するテナントに指定された FAX に自動転送する機能です。	
か行	外字ピクト	モードの設定状態を別途電話機の外字として登録し、モード設定時ピクトで表示する機能です。夜間 An、夜間 B、留守、サイレント、キーロックがある。一般のピクトは表示位置が決定してしまいが、外字ピクトは表示位置が状況で変化します。	「工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Ea20]外字ピクト表示」を参照。
	外線 DT	外線に発信するときに外線から送信される発信音のこと。	
	外線解放ガードタイマ	外線の解放から、同じ外線に発信する際に、短い時間で外線を捕捉しないようにして、確実に外線の解放を保障するタイマーです。本ガード時間内は外線はシステム使用中状態(外線ボタンは赤点灯)になります。	短い時間で切断/発信を行うと、外線はフッキング信号と誤って認識してしまうことを防止するためにタイミングをとります。
	外線種別	システムに收容されている外線がどのような外線であるかを識別する設定です。	本システムの外線種別には次のものがあります。 アナログ外線、PHS 外線、BRI 外線、PRI 外線、VoIP 外線、ひかり外線、FMC 外線、アナログ専用線、SIP 専用線
	外線シーケンス番号、専用線シーケンス番号	收容されている外線、専用線に対して、000 から 999 の番号をユニークに付与して外線の通話チャンネルを識別する番号です。テナントごとに同じ番号を別の回線に割り付けることができます。	指定外線捕捉機能の使用する番号です。 指定外線捕捉特番+外線番号(シーケンス番号)
	外線自動転送	転送電話のこと。外線からの着信を外線や専用線に転送する機能です。	外線自動転送には 3 種類の転送方法があります。 通常の 1:1 の転送、2 箇所を同時に呼び出して、応答した相手に転送する同時転送、1 箇所呼んで応答が無い場合、次の転送先を呼び出す順次転送です。
	外線発番号通知	ISDN 外線に発番号を通知するかどうかを指定するデータ設定です。発番号を通知する場合、発番号情報要素の表示を可にして、発番号を設定します。通知しない場合、発番号の表示を不可にして、発番号を設定します。網契約に従う場合は発番号情報要素を設定しないで発信します。	発番号を設定しないで発信すると、網との契約にしたがった発番号(通知する/しない)を網が付けます。
	外線捕捉自己番号	外線を捕捉した場合、補足した外線の契約番号を LCD に表示するデータです。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	回線使用制限	一時的に回線を閉塞して使えなくなる機能です。	利用シーン: 休日など応答できる人間が限られるような場合、使用制限をかけて一定数以上の着信を規制するなどに使用する。
	回線捕捉モード	同じ網に收容される外線をグループ化(方路分割)し、その中で收容位置の若い通話チャンネルから使っていくのか、收容位置の大きい通話チャンネルから使っていくのかを指定するデータです。	例えば網は收容位置の若いチャンネルから着信してくるような場合、発信は收容位置の大きいほうから使えば、発着信の衝突が回避できます。
	外部PSN	自営標準PHSの着信時に無線区間で着信を通知するためのPHSにユニークに振られた番号のことです。	
	仮想SC	外線の着番号やiナンバーサービスのポート番号に割り振った仮想收容位置番号のことです。番号ごとの着信形式はこの仮想SCごとに割り当てます。SCの構成は上位2桁がスロット番号、下位2桁がポート(回路)番号になります。VoIP外線のように、最大64chのように2桁で表現できるものはSCで表現します。例外としてSIP専用線は127chと3桁必要になるため、仮想SCという概念を使用します。	物理回線で着信先を識別できるものは、SCに対して着信形式を登録できますが、番号ごとに着信先を識別する場合、SCに該当するものがありません。このような場合に仮想的なSCを番号に割り当てて着信形式を設定することで設定の統一化を図っています。
	活性挿抜	システムの電源がONの状態、パッケージの抜き挿しができる機能です。	本システムではM/Lタイプが活性挿抜に対応します。
	管理用メールボックス	通話録音時、メールボックスが指定されなかった場合に一時的に保存するためのメールボックスです。	内蔵メールにはこの概念がありません。CTstageのメール機能に実装されている概念です。
	干渉回避	自営標準PHSの運用時、他の自営システムとの電波干渉をさけて、運用する機能です。	CSによる干渉回避: CS起動時、周辺キャリアのスキャンを実施し、干渉していない制御チャンネルの送信タイミングで制御チャンネルを送信する機能。PHS子機からの通話チャンネル要求に対して、周辺環境で干渉していないチャンネルを割り当てる機能です。 PSによる干渉回避: PSの電源ONや呼出エリアの移動によって、止まるCSを選択する際に、干渉していないCSの電波を選択して位置登録する機能です。 通話中に通話品質の劣化により、干渉していないCSに移動する機能です。
	キーパッドモード	ISDN外線と通話中にキーパッドファシリティ情報を外線に送出できる状態です。	ボイスワープなどの登録で使用します。
	キーロック	電話機からのキー操作を無効にできる機能です。	電話機からの操作を応答のみに限定する場合に使用します。 [Dc09]受付端末連動機能を使用する際に使います。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	擬似 DT(擬似発信音)	回線を捕捉したとき、回線からの発信音が送られないような回線の場合、システムで持っている発信音を回線の代わりに発信者に送出する音です。	例えば ISDN 外線をボタンで捕捉した場合、網からの発信音が出てきません。このような場合に使用します。 一括発呼が必要な回線はすべて該当します。ISDN、VoIP、SIP 専用線などです。
	機能特番	機能ボタン+機能番号ダイヤルで実現できる機能の機能番号です。	<a href="#">「工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Na08]機能特番」</a> を参照してください。
	機能セット一括解除	不在モード、外線着信鳴動拒否、子機サイレント状態を一括で解除する機能です。	
	機ひも	電話機と主装置からの配線の終端機器(ローゼット)との間を接続する配線ケーブルです。	
	キャッチホン(chなし着信)	ins ネットの付加サービスの一つ。通話中に別の着信を受けることができる機能です。	
	キューイング	着信を先着順に並べて管理する手法のことです。	
	強制転送(着信音転送)	アンスクリーン転送のこと。相手呼び出し中状態で、受話器を置いて転送できる機能です。	
	共通電話帳	電話帳を分割して、テナントごとに共通で使用できる電話帳です。	共通電話帳は 00~99 の 100 個まで分けられます。
	共通メールボックス	テナントなどにくくりつけられたメールボックスで、複数内線で共通に使用できるメールボックスです。留守番機能で使用します。メールボックス番号は 4 桁までです。	外部ボイスメール機能の場合は、8 桁になります。
	緊急一斉呼び出し着信	電話機ごとにあらかじめ緊急一斉呼び出しする内線を設定しておき、緊急一斉呼び出しボタンで、登録した内線を一斉に呼び出せる機能です。応答した内線は呼び出し先の声を聴取したり、ガイダンスを聞いたりします。	
	緊急ダイヤル	110 や 119 などの緊急を要するときにかける番号でことです。	
	クイック通話	アナログコードレス電話機を充電台から上げた場合の動作設定で、クイック通話ありの場合は、自動的に外線を選局します。	
	クイックログオン	ボイスメールアクセス時、メールボックスを指定しないでアクセスできる機能です。ログオン先のメールボックスがわかっている場合に適用される機能です。	メールボックスボタンを押下した場合、メールボックスボタンに割り付けられたメールボックスにアクセスします。メールアクセス特番+メールボックス番号の操作をメールボックスボタンの 1 操作で実現できるため、クイックログオンと称しています。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	区切りコード	ISDN 外線や VoIP 外線に発信する場合、着番号(相手番号)と着サブアドレスを識別するために、「*」をその識別コードとして使用します。またダイヤルの終了の識別は「#」を使用します。	例えば、相手番号 0334542111 で着サブアドレス 1234 をダイヤルする場合、「0334542111*1234#」とダイヤルします。
	クラス規制	サービスクラスによって発信を規制する機能です。例えば外線発信規制、国際発信規制などがあります。内線ごとに適用するクラス(規制対象の範囲)を、決めます。クラスは 8 つあり、自由に範囲を定義できます。	サービスクラスは A~H までの 8 つが定義できます。それぞれのクラスで以下の動作を指定できます。 (外線発信、外線着信、専用線発着信、PBX 回線発信、PBX 回線着信)の可/不可 (国際発信、市外発信、市内発信、移動体発信、市内特番発信)の可/不可 共通電話帳発信規制をする/しない。
	クロックマスター	BRI、PRI の ISDN 外線収容時に、本装置のデジタル回線同期を網側にあわせるために同期クロックを引き込む回線のことです。	機能特番#969 で表示できます。
	群番号	着番号 DID などで、外線をキャリアごとに分けるための識別番号です。	群番号で分けると、同じ着番号の設定でも群が違えば登録できます。
	携帯識別番号	携帯電話であることを識別するための番号です。	例えば 090 などです。
	桁間タイマ、内線桁間タイマ	アナログ外線などに発信する場合、電話機からのダイヤル完了を判定するためのタイマーです。ダイヤル入力ごとにリスタートされ、タイムアウトでダイヤル完了とします。	
	コールウェイトン	話中の内線にかけた場合、相手が空き状態になるまで待っていると、自動的に相手呼び出す機能です。	
	コールスピーカ	多機能電話機(TD)にコールスピーカを接続することで、着信音を大きな音で鳴動させる機器です。高音量ベルと同じです。	工場などの騒音が大きいところで着信を認識するために使用します。
	口頭転送	保留した人が、その保留を応答して欲しい人に対して、口頭で何番に応答してくださいと、転送する行為を言います。	
	呼種	呼種別のこと。着信時の呼種としては、外線着信、専用線着信、内線着信などがあります。	
	呼種表示、呼種別表示	電話機にどのような着信形式の着信が入っているかを、LCD に表示する機能です。	<a href="#">「工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Ea04]着信時呼種表示」</a> を参照してください。
	固定選局	方路種別を指定して発信する方法です。(VoIP 指定、ひかり指定、PHS 外線があります)	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	個別系着信、個別着信	一つの指定した電話機に着信する方法の総称。DIL、DID、内線着信などが相当します。	
	個別電話帳	内線ごとに個別で使用できる電話帳です。	
	個別発番号	内線ごと、DGLグループごとなどに着番号 DID で着信する番号を設定したデータのこと。これを設定しておくことで発信時に、設定されている番号を発番号にのせて発信します。	
	これ de コール	これ de 発信のこと。特定の電話機に WEB でログオンし、PC から発信できる機能です。	PC から発信すると、ログオンした電話機に着信が入ります。ログオンした電話機が着信に応答すると、PC で指定した相手を呼び出せます。このときログオンする電話機は着信専用とするためにキーロック状態にしておきます。
さ行	サービスクラス	内線ごとに、どこまでの発信を許容するかを指定するデータです。	具体例は <a href="#">クラス規制</a> を参照してください。
	最終保留	一番最近に保留した呼(システム保留、パーク保留、自己保留、一時保留)のことをいいます。最終保留された保留呼は続けて、発信操作をすることで着信した内線にダイヤル転送ができます。	
	再接続型チャネル切替	通信中の CS 内でチャネル切替ができなかった場合、別の CS に対してハンドオーバーするときのチャネル切り替え方式のことです。	
	サブメニュー、編集メニュー	メニュー操作で機能を選択後、さらにその機能に特化した選択肢がある場合に表示するメニューです。	
	自局認識番号	専用線から着信した場合、最初の局番が自分の局番かどうかチェックするために使用する。自局の番号であれば、その番号を削除して残った番号で着信先を分析します。	専用線に発信する場合は、専用線発信特番 + 局識別番号 + 相手内線番号のようなダイヤルをします。この中の局識別番号が自分の局の番号かどうかをチェックするものです。
	シグナル情報値	PHS の鳴動音を指定する、無線チャネル上の情報要素。これを受信した PHS 端末はシグナル値に従った、鳴動を行うことで、呼び出された呼の種別を認識できます。自営標準機はこちらの情報要素を使用します。	
	システム認識番号	専用線の局識別番号のことです。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	システム初期立ち上げ	設定されているデータ設定を初期化して、システムを再起動することを言います。	2つの方法があります。 ①CCUの初期化SWをINITに設定し、電源をONします。 ②電話機保守またはPC保守コンソールから初期化指定でリセットします。
	自動終話	外線にダイヤルを送出後、一定時間後に自動的に切断する機能をさします。この機能は網のサービス登録など通話する必要がない呼で使用します。	利用シーン: オートダイヤルにボイスワープの登録特番+終話コードを登録しておきます。ボイスワープを起動するときは、このオートダイヤルを押下することで、自動的にボイスワープ登録特番がダイヤルされ、一定時間経過で自動的に切断するので、操作者はワンタッチで登録操作ができます。
	自動選局	入力したダイヤルを分析して、発信できる外線を自動的に捕捉して発信する機能です。	例えば、050xxxxxをダイヤルした場合は、該当のVoIP外線を捕捉して発信できる機能です。
	自動選局応答	応答ボタンを押すと、操作した内線に着信している最優先の着信に応答する機能。応答ボタンに方路を指定することで、方路内の最優先着信に応答します。個別着信も自動選局応答の対象になります。	
	ジャミングコード	第3者に知られないように暗号化するためのコードです。	
	集中受付装置	多機能電話機のボタンの数を拡張するための端末。ホテル機能利用時にフロントに客室ボタンを設定するなどで使用します。	
	終了コード	一括発信や、チェーンダイヤルの終了を発信タイマのタイムアウトを待たないで、ダイヤルの終了を表すコードで、#が該当します。(受信で発信動作に移行します)	
	主テナント	昼夜切り替えなどテナントで運用を切り替えるサービスにおいて、外線やドアホンがどこのテナントの切り替えで昼夜を切り替えるかを指定するデータ。発信テナント、着信テナントがテナントにまたがって設定可能であるため、昼夜切り替えの対象テナントとしてもつデータです。	具体例: 外線1はテナント1とテナント2に着信できるものとした場合、テナント1で昼夜切り替えが行われた場合、外線1は昼モードか夜モードなのか判断できません。このとき外線1の主テナントはテナント1に設定されていれば、テナント1は夜間なので夜モードで動作します。
	スケルチ切断	PHSの通信において、電波の劣化などにより切断されることを言います。	例えば、通話中に圏外に移動するとハンドオーバーもできないし、切り戻り(元の基地局に戻る)もできないので、スケルチ切断になります。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	ステミュラス手順	サービスそのものを意識しないことを前提とした、ISDN 付加サービスを実現するための信号方式の1つ。端末は、人間が操作するキー情報をそのまま網に転送し、網からの信号をそのままヒューマン・マシンインタフェースを介して人間に通知するだけです。	ins ボイスワープの登録や迷惑電話の登録は単に電話機で押されたダイヤルを網に出すだけで、電話機自体は何のサービスを起動しているのかは分かっていません。このような手順のことを言います。これとは別に電話機自体が何のサービス登録をしているのかを状態管理などで分かっている場合の手順をファンクショナル手順といいます。
	スマートデュオ	ハードホン(一般の電話機やボタン電話機)と COM@WILL が連携するサービスのこと。COM@WILL のハンドセットとしてハードホンが使用できる機能です。	
	スライド辞書法	データの圧縮方法の一つで同じ文字列が多様される場合に有効な圧縮方法。圧縮方法は同じデータ列が再度発生した場合「n文字戻って m 文字コピーする」というように実行される。例えば「ABCDEABCDEX」の場合「ABCDE55X」と圧縮されます。	
	セーフティ威嚇	セーフティモード時に人感センサなどを使用して、外部からの侵入に対して、威嚇音や通報先からの威嚇音声で侵入者を威嚇する機能です。	威嚇については威嚇電話機に設定された電話機から行います。威嚇方法はランプ表示、音、ガイダンス、外からの威嚇があります。
	セーフティグループ	威嚇電話機やセンサ電話機、外部センサや警備装置などセーフティ機能の利用する機器を一つのグループにまとめたセーフティ機能の運用単位のこと。システムで2グループ持てます。	
	セーフティタイマ、セーフティモードセット遅延タイマ	セーフティタイマを設定することで、セーフティモード登録するとタイマーが起動し、タイムアウトすると自動的にセーフティモードに移行するためのタイマー。	
	セーフティモードプリセット状態	セーフティモードをカレンダーによって自動的に起動する場合、セーフティグループに属する電話機がすべて空きになるまで、セーフティの登録を待ち合わせている状態です。	
	セーフティリモコン	外部から PB 信号を使って、セーフティモードの設定/解除ができる機能。モードの設定/解除、威嚇状態の解除、音声威嚇の開始/解除ができます。	
	世代管理	保守コンソールでデータ変更した際、3回分の変更データを記憶して、確認したり、元に戻したりできる機能です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	先行トーン	内線音声呼びを行うとき、音声が出る前に「ピピッ」と音を鳴らして、これから音声が出てくることを知らせる音のことです。	音声呼び予告音のことです。
	専用線プレポーズ時間	相手局からの起動信号(ウイंक)がない場合、専用線を捕捉して一定時間後にダイヤルを送出するためのタイマーです。	
	専用線方路別削除桁数	専用線に発信する際に、主に専用線のアクセス特番を削除する用途で使用する。例えば 8-22-300 で発信し、削除桁数が 1 であれば先頭の 8 を削除して、相手局(TS 局かもしれないが) 22-300 を送信します。	
	早期ダイヤル送出防止タイミング	プリセットダイヤルや確かめダイヤルなどで外線に発信する際、外線からの発信音を待つためのガードタイミング。本タイマーのタイムアウトで、外線から発信音が出ていると判断して、ダイヤル送出を開始します。	
	側音	受話器で通話中に自分の話した声が受話側に返ってくる音のこと。側音があることで、エコーを和らげる効果があります。	
	即時発信	ワンタッチダイヤルやリダイヤルなどダイヤルが確定している操作で、そのあとのチェーンダイヤルを待たないで発信する動作です。	
た行	帯域管理グループ番号	ネットワーク番号ごとに使用できる帯域の上限値を規定したグループのこと。ネットワークアドレスごとに使用できる帯域を設定し、それ以上の帯域を使用できないようにすることで、ネットワーク上の音声データの輻輳を防止するための機能です。	ルータ間の回線が細い場合にルータ間の通話を絞るために多くは利用される。
	待機状態	内線(電話機)がなにもしていない状態。空き状態で着信や発信を待っている状態です。	
	待機表示形式	待機状態での時計表示を横倍、縦倍、標準の大きさと指定するデータです。	
	ダイジェスト認証	HTTP や SIP の認証方式のことです。	ユーザ ID とパスワードを MD5 という方式でダイジェスト化する認証方法。
	ダイヤル規制チェック	発信時のクラス規制のこと。たとえば国際呼規制のクラスであれば 010 ダイヤルで BT 接続させたりします。	
	確かめダイヤル	発信番号を LCD で確かめて(確認して)発信できる機能です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	タンデム接続	専用線から専用線にできるような接続のことです。	
	単独電話機	アナログ電話機のことです。	SLI パッケージに接続する電話機です。
	チャイム	外部スピーカや電話機から、指定時間になるとチャイムを鳴らす機能。昼や 3:00 のチャイムのことです。	
	着信ウェイト、着信おまたせ	外線からの着信を、電話機操作で一時的にお待たせ(着信ウェイトガイダンス→保留音)する機能。システム保留/パーク保留になるので、一台の電話機で複数のお待たせができます。	通話中に着信があった場合、応答できる人が自分しかいないようなときに着信ウェイトボタン押下と続けて応答操作(たとえば外線ボタン押下)で保留状態にできます。現在の通話が終わったら、保留に応答すれば待たせた人と通話ができます。
	着信音転送	強制転送のことです。	
	着信呼識別	外線からの着信時、着リングの山の数を認識して、その数によって着信の鳴り分けを行う機能です。	利用シーン:ビハインド PBX で接続されている場合、外線からの着信か PBX 内線の着信かを着リングで識別して、識別したリングで鳴り分けを行うことで、着信が外線かどうかわかります。応答するときに XXX 部ですと言うか、xxx会社です。と言うかが識別できる。
	着信グループ	色々な着信先を総称した、マニュアル上の説明のためのグループ。特に着信グループというグループ設定はありません。	
	着信形式、着信方式、着信種別	外線からの着信に対して、どのような着信方法で着信させるかを指定した設定データです。	着信形式には、一般着信、DGL/MSA 着信、DIL/DID 着信、着番号 DID、付加番号 DID、着信代行などがあります。着番号 DID の場合は着番号ごとに着信形式を指定します。
	着信順次分配	内線グループ内で、均等に着信させる機能です。	
	着信テナント	テナントごとに着信可能な外線を指定したデータをいいます。	
	着信鳴動形態値	PHS の鳴動音を指定する、無線チャンネル上の情報要素。これを受信した PHS 端末は鳴動形態値に従った、鳴動を行うことで、呼び出された呼の種別を認識できます。	自営標準規格には定義されない docomo 独自情報です。
	着信ランプ	標準電話機 LCD の上にある大きなランプです。	
	チャンネル識別子	ISDN 上の通信するためのチャンネルを端末と網との間で、ネゴシエーションのために使用される情報要素です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	着リング鳴動バースト	回線からの着信音の断続のこと。IR:3秒間に鳴動が一つ。SIR:3秒間に鳴動が二つ。TIR:3秒間に鳴動が三つ。これらを識別することで、ビハインドPBXからの着信に対して、PBXの内線着信なのか、公衆網からの着信なのかを、ビハインド収容されたシステムで識別できます。	
	中間コード	IP電話自動交換機能は、相手のシステムが応答時、自動的にポーズをとって「*発信先内線番号*発信元内線番号#」とダイヤルします。それぞれ先頭の*が開始コード、内線番号の区切りの*が中間コード、最後の#が終了コードになります。	
	チェーンコール	内線呼び出し中や話中時に、ワンタッチやDSSに登録された別の内線を押下することで、現在呼び出し中(話中)の状態をリセットして、別の内線を呼び出す機能です。	
	チェーンダイヤル	ワンタッチダイヤル操作後に追加ダイヤルが追加できる機能です。	
	通信可能性確認	ISDNプロトコルのなかの機能の一つ。着信時、伝達能力や低位レイヤ/高位レイヤ整合性の各情報要素の内容に従って、着信する端末がその呼を受入可能かどうかを確認する機能。受入できない場合は拒否したり、別の受入可能な端末に迂回したりします。本システムでは迂回はありません。また高位レイヤ整合性のサポートもありません。	
	通話時間開始タイマ、課金開始タイマ	アナログ外線などで、相手応答信号(リパース)が無い番号や、回線の場合、通話開始を判定するタイマーです。	
	通話単位時間	通話時間の表示のことで。	
	通話中セッション監視	通話中にINVITEメッセージを送信して、相手からの200OKレスポンスの返答を受け取って通話中状態なのか、すでに切断されているのかを監視する機能です。	
	通話割り込み	通話中の呼に第3者が割り込んで、3者通話の状態になる機能です。	通話割り込みのほかに通話モニタという機能があります。通話モニタは聴取するのみで、自分の声は相手に出ない他相手のLCDにも変化はありません。モニタされていることが分からない機能です。
	ですく deRSS	RSSサイトよりRSSコンテンツ(新聞見出しなど)を取得して、標準電話機のLCDにスクロールして表示する機能です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	テナント	電話機を運用する単位(例えば組織、店舗)で分けたグループのことです。	テナントに従うサービス:発信可能外線、着信可能外線、昼夜切替、祝祭日、留守番、自動外線転送(転送電話)
	テナントグループ	複数のテナントをグループ化して、大きな運用単位を形成したグループのことです。	テナントグループに従うサービス:着信履歴、迷惑電話拒否、発信禁止番号
	テナント毎 MBX	テナントに共通で使用するメールボックスのこと。留守番電話機能で使用するメールボックスです。	
	電話機オンライン	電話機が使用できる状態のことです。	
	電話機オフライン	電話機障害などで電話機が使用できない状態のことです。	
	電話機保守	電話機から設定データの設定と保守コマンドの実行ができる機能です。	
	電話帳グループ	電話帳を0から9の10のグループに分けて使用できる機能のグループ番号。共通電話帳をグループ分けして、用途の違う使い方ができます。	電話帳グループに依存する機能:リモートコールバック、着信時の着信ランプの色
	電話帳ダイヤルコード、電話帳コード	電話帳のメモリ番号のことです。	
	電話帳の短縮番号	電話帳のメモリ番号のことです。	
	転送リモコン	外線から不在モードと自動転送モードの切り替えができる機能です。	
	トールサーバ着信	CTstage にアクセス時、メールボックスに登録された番号からの着信時(そのメールボックスの所有者)、新規メッセージが無い場合、一定時間応答しないようにできる機能。新規メッセージがあると即応答するため、メッセージが無いときに CTstage の応答前に切断すれば、課金されずに済みます。	
	トーンオーバーライド	コールウェイトン状態の特番操作をすることで、コールウェイトンしている内線に待機中音(トーンオーバーライド呼出音)を送出することができる機能です。	
	ドアホン擬似着信音	通話中の内線にドアホンからの着信があると、通話中着信音の代わりにスピーカーから送る音です。	
	ドアホン着信有効時間	ドアホンが着信状態とシステムが認識する時間です。25 秒固定です。	この時間を過ぎると、ドアホンの着信状態が解除されます。
	ドアロックリリース	ドアの電気錠を開錠することを意味します。	DRPG パッケージに電気錠を接続して、内線からの操作でドアロックを開錠できます。利用シーン:ドアホンから来客があった場合、応答した内線が本操作をすることでドアを開けることができます。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	同期パケット	IP 多機能電話機のリング同期鳴動を実現するためのパケット。本パケット受信で同期をとって、リング鳴動します。	
	同報メールボックス	録音内容を複数のメールボックスに配信するためのメールボックス。同報を実現するためのもので、メッセージを残したり、ログオンしたりすることはできません。	このメールボックスは内蔵メールにはありません。CTstage のメール機能のみにある物です。
	特番	電話機から機能を指定する番号のこと。例えば外線に発信する場合に一般的にダイヤルされる 0 が該当します。	内線番号も特番で指定します。指定方法は 1 が内線番号で 3 桁と言うような指定をし、別途 3 桁の 1xx の内線番号を登録します。
	特番展開	電話機から入力されたダイヤルや設定された番号が特番の場合、特番を識別することをいいます。	
な行	ナースコール代行	ハンディナース子機が故障したときに、一時的に代替子機をハンディナース子機として使用できる機能です。	
	ナースコールバック	一番直近と通話した NC 子機と通話できる機能です。	
	内線 DT	内線に発信する際に、電話機に送出される音です。	
	内線クラス切替	内線サービスクラスはクラス切替前のクラス。内線クラス切替というデータはクラス切替後のサービスクラスを言います。	利用シーン: 業務時間内は外線に発着信できるサービスクラスを割り当て、業務時間外になると外線に発着信できないクラスを割り当てることで、第 3 者が不正に外線にかけられることを防止できます。
	内線グループ	内線代表や内線音声呼出などで使用するグループ。テナントとは別のグループを設定します。	
	内線個別信号呼出音	内線着信音のことです。	
	内線代表スライド種別	内線グループ内で、親電話機が話中の場合に、次に登録された内線に着信をかけるときの、次に着信をかける内線の選択方法を言います。 パイロット、サイクリックがあります。	パイロット方式: 内線グループ内で 1 台が親内線になり、親内線に着信できない場合、内線グループ内の子内線にスライドする方式。 サイクリック方式: 内線グループ内のすべての内線が親内線となり、内線グループのどの内線にかかっても、該当内線に着信できない場合はスライドする方式。 最終段停止方式はありません。
	内線捕捉状態	内線の DT(発信音)が鳴動している状態です。	
	内線捕捉中メニュー	内線 DT を聴取している状態で(スピーカランプ点灯)確定ボタンを押下することで使用できるメニューのことです。	
	内線メールボックス	内線にくくりつけられたメールボックスであり、メールボックス番号は内線番号と同じです。	代行時のメールボックスになります。また通話録音した場合のデフォルトのメールボックスになります。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	内線リコール	フラッシュボタンやフッキング操作で、現在の状態をリセットして、内線 DT 聴取状態に持っていける機能です。	
	内部 PSN	PHS 増設時に自動的に付与される PS 番号です。内部処理で基本番号として使用されるため、内部 PSN と称しています。(外部 PSN のように自由に変更はできません)	
	二段転送	自動転送(不在転送など)された着信先が、さらに自動転送をしていた場合、着信先の設定した転送先に転送する処理。通常は二段転送は行いません。	
	任意ポーズ	ダイヤルの途中にポーズ挿入操作によって、任意の場所にポーズを挿入することができる機能です。	ポーズ時間はデータで変更できます。初期値は 3 秒です。 「工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Aa25]任意ポーズ」を参照してください。
	認証鍵	PHS 子機のなりすまし防止のために、システムと子機の間で認証するための鍵データ。	発着信、位置登録で無線区間上で認証動作が走ります。 CS から認証要求を出して、認証要求の中にあるデータを認証鍵で暗号化して認証応答を CS に返し、CS またはシステム本体でチェックをします。
	ネスティング	電話帳の中に、別の電話帳番号を登録できる機能です。	
	ネットワーク番号	帯域管理で使用する管理番号のこと。ルータ内ネットワーク、ルータ間ネットワークを番号で定義したものです。	
	乗り換え	現在通話中の呼を切断して、別の呼に乗り換える機能のことを言います。	利用シーン: 外線と通話中に外線からの着信がありました。現在の通話を終了して着信に応答しようとした場合、着信している外線ボタンを押下することで現在の通話を切断して、着信に応答できます。受話器をわざわざ戻す必要がありません。
は行	パーソナルハンズフリー	内線の着信側のみマイクを有効にし、ハンズフリーで通話できる機能。この機能はハンズフリー電話機でなくてもハンズフリー応答が可能です。	
	パイロット方式	内線グループの先頭に登録された内線が話中の場合、次に登録された内線のリスト順に空き内線を探して、着信させる方式です。	
	ハウラ状態	ハウラ音鳴動中からロックアウトまでの状態のことを言います。ハウラ音とは受話器を上げたまま放置した場合に受話器外れ状態を警告するために、受話器から送出される大きな音です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	発番号別不在転送	外線からある特定の発番号を持った着信に対してのみ不在転送する機能です。	利用シーン:VIPからの電話を秘書に転送。
	発信区分	「国際発信」「市外発信」「市内発信」「携帯発信」「市内特番(主に1XY)」をさします。	
	発信種別	自動転送などで転送先のダイヤルに対して、そのダイヤルがどのようなダイヤルを識別するための情報です。使用例は番号種別を参照。	
	発信タイム	一括発信が必須な外線、専用線に発信した場合、一括発信を起動するための判定タイマー。桁間タイマーの代わりに使用され、タイムアウトで発信します。 ISDN外線の場合SETUP、VoIP外線の場合INVITEを送信します。	発信タイムのタイムアウト前に「#」ダイヤルで発信できます。
	発信テナント	テナントごとに発信可能な外線を指定したデータ設定です。	
	パークシーケンス番号	パーク保留する際にパークキーの番号をテナントごとに指定した番号。テナントが異なれば、同じシーケンス番号が指定できません。	利用シーン:テナント1でパークトランク001、002、003を使用しそれぞれパークシーケンス番号を000、001、002とします。 テナント2でパークトランク004、005、006を使用し、それぞれのパークシーケンス番号を000、001、002に割り当てます。 テナント1でもテナント2でもパークシーケンス保留特番+000の操作でテナント1ではパークトランク001にテナント2ではパークトランク004に保留できます。
	発着衝突	一つの回線上で発信と着信が同じタイミングで発生し、通話状態になることです。 ボタン電話で言うと、一つの外線ボタ上で発信しようとしてボタンを押した所、着信がたまたま入ってきて、応答してしまう現象です。	発着衝突が発生すると、相手にダイヤルパルスやPB信号が出たり、PB電話機からは桁間まで片通話のような色々な弊害が起きます。B線検出回路を持ったCOパッケージであれば、このような弊害を最小限にすることができます。
	パークトランク番号	システム全体のパーク保留(パークキーに保留された呼)を識別する番号。保留をトランク(回線)と同じように見立てて管理する番号です。	
	パトロールパケット	定期的にパケットのやり取りを行い、対向の装置が正常かどうかを検出するパケットです。	
	バンケット内線	ホテルの宴会場に貸し出す、PHS内線のこと。チェックアウト時に課金の対象となります。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	番号種別	オートダイヤルや電話帳に登録した番号がどんな番号であるかを、区別するもので、番号の登録と一緒に登録します。	例えば 123456 と登録された番号が市内番号なのか、専用線の番号なのか、PBX の内線の番号なのかは番号だけでは識別できないので、それを識別するために使用するものです。
	ハンディナース子機	ナースコール機能を利用できる PHS 端末のことです。	
	ハンディリモート副親機	ナースコール装置(モード2)機能で使用する、PHS 端末のことです。	
	ハント	システムで共通に使用するリソースを予約することをいいます。	
	ハンドオーバ	PHS 子機が通話中に通話チャンネルの品質の劣化や受信レベルの減少を検出して、より電波環境のいい CS に移動して通話を切り替える機能です。	
	非圧縮ゾーン	音声圧縮をしないで通信する端末や回線のグループのこと。非圧縮ゾーン間で通信する場合に音声圧縮機能が適用されます。	
	ビーブ音	確認音で単発の音を言います。	通話録音の開始時に CTstage から鳴動します。
	非活性	電話機が障害などで動作していない状態です。	電話機オフラインと同じ意味です。
	ビジー音	話中音のことです。BT と同じ意味です。	
	ビジー状態	話中音を聞いている状態です。	
	ビハインド	PBX の内線をシステムの外線に收容して、外線発信することで PBX の内線の機能を利用して運用する收容形態のことをいいます。	このように收容することで、少ない PBX の内線で、多くのボタン電話機が使える環境が構築できるため、PBX 内線の集線効果が期待できます。
	標準電話機	デジタル多機能電話機の総称で、TD 電話機、CL 電話機などを示します。	
	ブートローダ	ブートプログラム(立ち上げプログラム)をメモリー上に展開するためのプログラム。電源 ON で起動されるプログラムです。	
	ファシリティ桁間タイマ	キーパッドファシリティを送信する場合、入力したダイヤルの終了を検出するタイマーであり、タイムアウトでキーパッドファシリティ情報要素を INFO メッセージにのせて送信します。	キーパッドファシリティはボイスワープなど網の付加サービスの登録などで使用します。
	不在 ON	不在モードが ON に設定されている状態です。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	フックフラッシュ信号	アナログの外線と通話中に一定の短い時間外線を切断し、そのあと外線をつなぐことで網にフッキングを行ったことを通知するための信号。キャッチホンがかかってきたときに受話器を戻さずに、新たな着信に応答するような場合に使用します。	
	フラッシュ	フックフラッシュ信号を送信するボタンの名称(フラッシュボタン)やフックフラッシュ信号(フッキング信号)などの総称として、使用しています。	フラッシュ信号送出のことをフラッシュ送出といたりするようです。(不統一用語に追加します)
	プリセット	外線を捕捉してから発信するのではなく、あらかじめ番号を入力して番号がそろった所で発信する発信方法のことです。	携帯電話での発信方法がこれにあたります。
	プリセット展開	ワンタッチダイヤルなどに登録された番号をLCD上に表示し、プリセット状態にすることをいいます。	
	プリセット発信開放タイマ	プリセット状態で最終ダイヤル後、このタイマーがタイムアウトする前に発信操作をしない場合、プリセット状態を解除するタイマの事です。	
	プレゼンス表示機能	内線の状態(在席、離席、会議中、外出、応答可、応答不可などの)情報をプレゼンスサーバから読み出して表示する機能です。	COM@WILL の組み合わせで実現できます。
	フレックスホン	INS ネットで提供している付加サービスであり、通信中に着信があったとき、あとからかかってきた相手と通話ができる「コールウェイティング機能」、別の相手に転送できる「通信中転送機能」、別の相手呼び出して通話できる「三者通話機能」、別の電話番号に自動的に転送できる「着信転送機能」の4つのサービスを総称してフレックスホンといいます。	本システムではフレックスホンには対応しません。
	プレシグナル	着信音がサイレントで始まる場合、音の鳴動がランプ表示に遅れて着信する場合、最初に短い音を鳴らしてランプと音のタイミングを合わせる機能です。	MKT/IP のように同期パケットで同期する端末の場合、最大で2秒リングが鳴動しないタイミングが発生します。そのような場合、最初に短いリングを鳴動することでサイレント時間を気にしなくする効果があります。
	ペットネーム	メール通知などで表示されるペットネームは商品名です。	
	ホーム局識別番号	PHS ローミング時、PHS が所属する局の番号とPHSを識別するPSNを設定したデータ。ローミングを実施しない場合はPHSを識別するPSNのみ設定する。このデータはPHSに着信する場合に使用されます。	ローミング機能がある場合、PHSが収容されているシステムが別システムなため、同じ外部PSNが割り当てられる可能性がある。この場合に着信先のPHSを一意に識別するため、収容局の番号を外部PSNの前に付けて識別します。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	ボイスメール属性	ボイスメールに関して、自動再生/自動消去/再生順序/最小録音時間/最大録音時間を設定で変更できるデータ設定です。	
	ボイスワープ	NTT アナログ/INS外線/IP外線(ひかり電話オフィスエース)の付加サービスの一つです。転送電話機能のことです。	
	方路(方路番号)	同一の網に接続された外線の束をグループ化したグループを方路といいます。またそのグループ番号を方路番号といいます。	設定例:NTT 外線を方路0、PBX 外線を方路1、専用線を方路2とすることで、方路選局発信でNTT やPBX や専用線を区別して捕捉できます。
	方路種別	方路ごとにどのような種別の方路かを設定するデータです。例えば公衆網なのかPBX 内線なのかは、方路を分けて運用するがその方路がどのような種別かはデータ設定します。	本システムの方路種別には以下のものがあります。 アナログ外線、ISDN 外線、VoIP 外線、ひかり外線、PHS 外線、PBX 回線、アナログ専用線、SIP 専用線、DocomoFMC、KDDIFMC、SoftBankFMC
	方路選局	方路を指定して発信する機能です。	本システムの場合は発信ボタンで発信する機能を示します。
	方路別発信可能外線	着信した外線の方路に対して、公公、公専になる場合に、使用できる回線のことです。例えば、専用線は公衆には出られないようにする場合、専用線の方路に対する発信可能外線を設定しないと実現できません。	
	集中受付装置	オートダイヤルボタンのみ実装された電話機で、電話機にボタンを追加するような用途で使用します。	
	ホテル管理ボタン	チェックイン、チェックアウト、清掃開始、清掃完了、などのホテル機能で利用する機能ボタンの総称です。	
	保留警報状態	保留状態(システム保留、パーク保留、自己保留、一時保留)が設定時間以上続いて、保留警告音が鳴動している状態です。	
	保留中個別着信規制	保留を持っている内線(アイホールド)に対して、個別着信を規制する機能です。	
ま行	マニュアル発信	手でダイヤルする発信方法のことをいいます。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	無線チャンネル接続中音	PHS 端末が発信操作をした場合、制御チャンネル上で通話チャンネルの交渉を基地局と行います。通話チャンネルの同期が確立して呼び出し状態になるまで、この接続中音を PHS 端末が出します。	PHS で発信するときにまず「プププ…」という音が鳴ります。その後呼び出し中になると RBT 聴取状態になります。この最初に鳴動する音のことです。
	メール収容回線	IPVMLC の通話チャンネルのことです。	CTstage とメール機能のために接続するチャンネルです。
	メールボックス用電話帳	メールボックスのみを登録した電話帳で、通話録音などの録音先の指定として使用します。	利用シーン: コールセンター業務で通話録音する際に、その録音内容を残すメールボックス(担当部署の指定のために)を電話帳から選択して指定します。
	鳴動インター	着信音のバーストの数のことです。IR(1バースト)、SIR(2バースト)、TIR(3バースト)があります。	
	迷惑電話お断りサービス	NTT のアナログ/INSネット/IP外線(ひかり電話オフィスエース)の付加サービスの一つ。サービス契約者が迷惑電話を受けた直後に電話機から登録操作を行うことにより、以降同じ電話番号からの着信に対しては、契約者に代わって「こちらは××-××××の××××です。この電話はお受けできません。ご了承ください。」と自動的にメッセージで応答するサービスです。	
	メニューショートカット	オートダイヤルボタンに特定のメニュー機能に飛べるボタンのことです。	頻繁に使うメニュー機能を登録しておくことで、面倒なメニュー操作が楽になります。
	メニュー特番	メニューショートカットを登録する際に、メニューを識別するための特番です。	
	モード	機能の有効/無効を操作によって切り替えたときの状態のことです。	たとえば不在モードとは不在状態になっている状態を示します。
	モード LED	各種のモード設定時、設定中を示すランプ表示のことを言います。	
や行	予閉塞	システム再起動や PKG・回線閉塞時に前記の当該機器を使用した通話の終了をもって再起動や閉塞状態遷移する機能です。	
ら行	リセットコール	内線呼出中または内線呼出話中時、そのまま別の内線番号をダイヤルすると、ダイヤルした内線にかけられる機能です。	
	リソース	本装置で端末や回線に固定されたものではなく、装置全体で共用して使用する機能や部品。必要ときに必要数分ハントしてシステムで共通に使いまわすものを示します。	例えば、VRS(ガイドランスチャンネル)、BT 検出回路、PB レシーバ、BRGI などがそれにあたります。

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	リバース信号	アナログ回線の極性が反転することで、相手の応答を検出できる信号です。	
	リモートコールバック	あらかじめ登録された番号からの着信があり、一定時間以内に切断されると、システムが自動的に着信した番号にかける機能です。	ワン切りをすることで、ここにかけると依頼することができる機能です。 (ワン切りコールバック)
	リモート切断タイマ	セーフティモード時の外部からの音声威嚇状態の場合に、外線を接続しておける最大の時間のことです。	
	ルートメニュー	最上段(一番最初)のメニュー表示です。	
	ルームステータス	ホテルの客室の状態のこと。チェックイン中、チェックアウト中、清掃中などがあります。	ルームステータスはDSSボタンやルームステータスインディケータに表示されます。
	留守番在宅自動応答時間	在宅モードで本タイマーの間に応答しなかった場合、自動的に留守番モードに設定するためのタイマーです。	
	留守番サイレント	留守応答時、留守番対応電話機で留守の録音内容を聞かない状態のことをいいます。	
	留守番グループ	テナント内の外線をグループ分けして登録し、留守モード時にそれぞれのグループの外線の留守動作を指定できます。「留守動作なし」「留守録音」「応答専用」が指定できます。	主テナントが同じ外線を留守モードになったときの動作で3つにグループ分けします。該当するテナントが留守モードになったときに該当する外線が一斉に留守状態になります。このときの留守動作はグループで指定した動作になります。
	留守番電話機	留守モニタができる電話機。テナント内に1台設定できます。	
	留守番モニタ	留守番応答時、留守番電話機で留守の録音内容をモニタ(聴取)している状態です。	留守番モニタ中に留守番電話機の受話器を上げると、留守番モニタしていた着信者と通話できます。 いわゆる家庭の留守番電話機能。
	留守リモコン	外線から留守モードの設定/解除や留守録音された用件の再生/消去ができる機能です。	
	レイヤダウン	ISDN 外線または内線のレイヤ1やレイヤ2が障害になって、通信ができない状態のことを示します。	
	レジスタタイムアウト	SIP 端末の場合、一定時間ごとに登録動作(レジスト)が動作します。その登録動作が一定時間内に無かった場合のことを言います。	

区分	用語(略号)	説明	補足説明
	レジスタ登録	レジストと同じ意味。	
	レジスト	SIP の端末が SIP サーバに対して登録する動作を言います。	登録時に認証をかけて不正端末の使用などを防止します。
	ローカル仕様	端末が実現している機能のこと。端末依存になる仕様です。	例えば MKT/IP の音の調節機能や COM@WILL の留守録機能などが該当します。
	ロックアウト状態	受話器外しを検出して、ハウラ音送出後に遷移する状態。ロックアウト状態からの復旧は受話器戻しで復旧できます。	
わ行	若番	番号が小さい方。	<a href="#">老番</a> を参照してください。
	ワン切りコールバック	リモートコールバックと同じ意味です。	
	ワンショット留守番	一時的に現在の着信を強制的に留守番動作に切り替える機能です。	利用シーン: 応答できない位の着信呼が発生している状態のとき、留守番機能を使って一時的にメッセージを残してもらいたいときなどに使用します。
	ワンタッチボタン	オートダイヤルボタンに電話番号を登録したボタンの総称です。	
	ワンタッチログオン	クイックログオンと同じ機能。CTstageではこのように言います。	

## 2 システム概要

本章では、システム全体の概要とシステムの特長を記載します。

システム仕様の詳細については、「[工事・保守マニュアル\(機器仕様編\)](#)」を参照してください。

### 2-1. 機器名、外線・内線収容数（最大容量）

本システムは、Sタイプ/Mタイプ/Lタイプの3つのシステムがあります。Lタイプはビルディングブロック方式で3段まで拡張が可能になっています。最大で外線・内線合計で768ポート収容できます。以下の各クラスの最大容量を示します。表現方法は(物理ポート数/論理ポート数)で表現します。

表 2-1-1 クラスごと最大収容数

機器名		ポート数(物理/論理)	外線最大収容数	内線最大収容数
PLATIA	(Sタイプ)	22/26	4/20	18/26
	(Mタイプ)	46/82	12/44	34/82
	(Lタイプ:1段)	128/384	64/64	96/384
	(Lタイプ:2段)	256/768	128/128	192/768
	(Lタイプ:3段)	384/768	192/192	288/768

注)物理ポート:物理的に実装される回線の数。

論理ポート:物理的には1回線であるが、多重化されて複数使用できる呼の数。

### 2-2. 本システムの特長

本システムは、オフィスの規模や業種にあわせて、多彩なオプションを選択して運用ができるビジネスホンシステムです。以下のような特長があります。

#### (1) 各種の多様な電話機の収容

##### <多機能電話機>

端末	仕様
多機能電話機(標準)	30ボタン、18ボタンの2機種がラインナップされています。 人感センサを搭載し、センサを利用したセーフティ機能が実現できます。 また4段の大型ディスプレイを搭載し、各種の情報を表示します。 テルト機能、壁掛け対応と各種のビジネスシーンに対応できます。
カールコードレス電話機(CL)	<b>【親機】</b> 30ボタン電話機で、多機能電話機(TD)と同じ機能が実現できます。 子機との間はBluetoothで接続され、クリアな音質を提供します。 <b>【子機】</b> カールコードの代わりにBluetooth無線で親機と接続されます。 子機単体でも各種のボタン電話機能を使用できます。 子機にも機能ボタンやLCDがあり、操作を確認することができます。 親機と子機の間は見通し100m以内で使用できます。
Bluetoothコードレス電話機(WSb)	カールコードレスの子機だけのタイプの電話機です。 親機は電話機の形状ではなく、アクセスポイントのようなものになります。 仕様はカールコードレス電話機(CL)と同じです。
デジタルコードレス電話機(DC)	PHSの自営電波帯域を使用して通話できる電話機になります。 基地局と電話機は1:1で対応します。 電話機には機能ボタンやLCDがあり、CLやWSbと同じような機能が使用できます。
デジタルコードレス電話機(UM)	事業所内を広範囲に移動できるPHS端末になります。 高速ハンドオーバーやPHS端末自体で電話帳を持ち、事業所内の個人電話機として使用できます。
集中受付装置(DSS) 状態表示盤(MBD)	集中受付装置はホテルのフロントなどで、客室ごとにボタンを増設する場合や、企業のオペレータが使用する場合に、内線ボタンを増設するような場合で使用できます。 状態表示盤は、共通メールボックスのメール表示や、外線の状態表示など、グループ内でランプを共有するようなサービスで使用します。

### <IP 電話機>

構内配線を LAN のみにした場合でも、IP 電話機を LAN に接続することで、電話機能を実現できます。

端末	仕様
SIP 端末 (NP)	24 ボタンタイプの多機能 SIP 電話機です。システムからの給電 (PoE) に対応しているため、AC アダプタが不要になり、配線がすっきりできます。
無線標準 SIP 端末 (WNP)	親機とシステムの配線が LAN になった、WSbタイプの電話機です。システムからの給電 (PoE) に対応しているため、親機は AC アダプタが不要です。
IP 多機能電話機	30 ボタンタイプの IP 多機能電話機です。プロトコルは専用のプロトコルなので、SIP に縛られることなくシステムの機能が使用できます。また、PC 接続ポートを持っているので、PC と電話機を別々の LAN ケーブルで配線する必要がありません。また PoE にも対応しているため、AC アダプタが不要になります。電話機をつなぐだけで、使用できる状態になるので、端末に設定する工事が省けます。
SIP 端末 (スーパーホン IP-V2)	SIP に対応した、10 ボタンタイプの SIP 電話機です。電話機をつなぐだけで、使用できます。
SIP 端末 (UT123)	PC ポートを搭載した、ソフトキータイプの SIP 端末です。PoE に対応しているため、AC コンセントが不要です。また PC ポートがあるので、電話機用の配線が不要になります。
SIP 端末 (UT670)	7インチカラー液晶のタッチパネルタイプの Android SIP 端末です。Android 機能を使用しながら電話機能を搭載しているため、アプリケーションで多彩な拡張ができます。PC ポートがあるので、電話機用の配線が不要になり、PoE もサポートしているので、AC アダプタも不要です。
IP ドアホン	標準 SIP に準拠した、カラーカメラ付きのドアホンです。外部スピーカ接続端子、電気錠接続端子を搭載し、PoE で動作します。また、専用ビューワと本システムの電話機を連携し、画像を専用ビューワに表示しながら、電話機で通話できます。
Com@WILL	PC にインストールして使用するソフトホンです。電話機能のみならず、留守番録音機能、保留/転送/会議機能、アプリケーション連携など PC ならではの拡張性を持ちます。
スマートホン	スマートホン上で Com@WILL 機能が使用できます。無線 WiFi アクセスポイントを経由して、通話機能などが使用できます。

## (2) 多彩な回線サービスの提供。

回線種別	提供サービス
アナログ電話回線	アナログ公衆網の収容(ナンバーディスプレイ、キャッチホン、ボイスワープ、迷惑電話おことわり) PBX 内線の収容(ビハインド収容) PHS キャリア外線の利用
アナログ専用線(ODT)	PBX との専用線網接続
ISDN 外線(基本、一次群)	ISDN 公衆網の収容(ナンバーディスプレイ、ボイスワープ、迷惑電話おことわり)
IP 電話サービス外線	NTT ひかり電話サービス(直収、アダプタ) KDDI 光ダイレクトサービス(直収、アダプタ) 内蔵ルータ機能
SIP 専用線	IP 専用線サービスの提供
FMC 外線	FOMA、KDDI、SoftBank 各携帯キャリアの FMC サービスの提供

## (3) ボイスメール機能

内蔵ボイスメールまたは外部ボイスメール(大容量ボイスメール)を使用して、ボイスメール機能を使用した、各種サービスが利用できます。詳細は [工事・保守マニュアル\(サービス機能仕様編\)](#) を参照してください。

	内蔵ボイスメール	外部ボイスメール
主要諸元	同時接続: 12 チャンネル 録音媒体: 主装置フラッシュ/USB フラッシュ	同時接続: 64 チャンネル 録音媒体: ハードディスク
代行機能	留守番機能、着信代行、不在代行、話中代行、無応答代行、圏外代行	着信代行、不在代行、話中代行、無応答代行、圏外代行
メール機能	通話録音、自動通話録音、ボイスメールアクセス(録音/再生)、メッセージ転送、パスワード管理、クイックメッセージ録音、ボイスメール用電話帳、公一公自動録音	通話録音、自動通話録音、ボイスメールアクセス(録音/再生)、メッセージ転送、パスワード管理、クイックメッセージ録音、伝言録音、録音転送、ボイスメール用電話帳、同報グループ録音、複数言語
その他機能	メッセージ録音通知、メッセージ外部保存	メッセージ録音通知、内線呼出、トルセーバ着信、折り返し自動発信

## (4) セーフティ機能

電話機に実装された、人感センサや外部センサと連動して、侵入検知や顧客来客検出機能などを使用したセキュリティ機能を利用できます。

センサ連動機能: 侵入検知威嚇、侵入検知外部通報、外部からの威嚇、Web カメラ連動、警報装置連動、いらっしやいまセンサ

また、気象庁の緊急地震速報を利用して、地震発生前に警告を出すことができます。

## (5) 特定業種向け機能

## &lt;ナースコール連携&gt;

ナースコール装置と連携して、患者からのナースコール時に看護師のもつ PHS 端末にナースコールを表示することができます。

連動機能: ナースコール着信、通話中ナースコール着信、ナースコールバック、患者情報表示

## &lt;ホテル機能&gt;

ホテル装置と連動することで、ホテルで運用するための機能が利用できます。客室・業務・一般の各内線の管理ができます。

ホテル機能: 業務内線(フロント、清掃内線)、客室内線(客室、バンケット内線)、ルームステータス管理(チェックイン/アウト管理)、客室操作規制、ウェークアップコール、客室情報表示(ルームインジケータ)、客室一斉鳴動

## (6) 保守/運用機能

システムの構築、運用中のシステム変更、障害通報、停電機能などの強力な保守/運用機能を提供します。

	提供機能	備考
システム構築	電話機によるデータ設定 PC 保守コンソールによるデータ設定 パッケージや電話機の自動実装	オンライン、オフライン
運用中のシステム変更	メニュー設定 Web 設定 ファームウェアの自動更新 設定データのバックアップ/リストア メロディファイルやユーザガイドの管理 通電中パッケージ交換、通電中パッケージ実装	ユーザーによる保守
障害通報	主装置ログ、障害情報 ASP サーバ機能(緊急障害通知) パッケージのランプ表示	
停電機能	停電時/バッテリーバックアップ 外部バッテリー接続 バッテリー駆動表示 省エネ対応	大容量バッテリー接続 停電時の内線電源停止
その他機能	輻輳制御 ネットワーク帯域管理 通話品質制御	

# サクサ株式会社

1038BM	133-1	M
--------	-------	---

4438063000

この資料の内容は平成25年3月現在のものです。